第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	職員研修事業			款項目	02-01-01	評価責任者	田中　正樹
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	職員担当	記入者	佐藤　秀樹
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	1	信頼できる職員の育成と充足したサービス提供
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 職員研修計画の策定、職員研修の開催及び研修機会の情報提供		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 職員一人ひとりがその知識・能力を伸ばし、それを最大限発揮することにより、市民サービスの向上を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		2,636,000円			
	決算額[Ｂ]		2,012,740円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		76.4%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		職員研修講師謝礼 435,440円 職員研修特別負担金 184,660円 研修管理負担金 980,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,012,740円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,012,740円			
人件費	一般職員		100人日　2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		50人日　451,000円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		3,133,167円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			5,145,907円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
職員1人あたりの研修参加回数	年間研修出席者延べ人数÷4月1日職員数	回	目標値		3.0	3.3	3.6	4.0
			実績値	2.6	3.6			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市民ニーズに的確に対応し、市民満足度を向上するため、職員一人ひとりの勤務能率の発揮及び増進に向け、職員研修の充実を図るとともに、職員の伸ばすべき能力や必要とする能力に沿った研修を実施する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	山梨県市町村職員研修所の階層別研修を積極的に活用するとともに、研修の受講実績を人事評価に適切に反映することにより、職員のスキルアップに対するモチベーションの向上を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中　正樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域防災力強化対策事業			款項目	08-01-06	評価責任者	田中　正樹
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	危機管理担当	記入者	河野　淳
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	災害対策基本法		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 地域住民、自主防災会など		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 防災訓練・防災講習会等による防災啓発及び人材育成 自主防災会資機材整備費への補助金交付など		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地域の防災活動が活性化することにより、地域の防災力が向上し、安全・安心のまちづくりの実現を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		10,896,000円			
	決算額[B]		9,855,756円			
	執行率[B]/[A]		90.5%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・自立型ソーラースタンド設置費（1,628,000円） ・災害用医療救急セット（1,036,800円） ・防災資機材整備費補助金（1,197,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	9,855,756円			
	財源合計[C](=[B])		9,855,756円			
人件費	一般職員		415人日　11,130,992円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		40人日　360,800円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		11,491,792円			
総事業費[B]+[D]			21,347,548円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
地区防災計画策定数	自主防災会が地区防災計画を策定した数（累計）	箇所	目標値		5.0	7.0	9.0	11.0
			実績値	3.0	4.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	3			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	近年、全国各地で災害が発生し、備蓄等の重要性が指摘されており、本市においても、市指定避難所の備品・食料等の確保に努めていくが、予算の平準化を図るため、数カ年の計画による整備を進めていく。地区防災計画については、2地区を策定目標としたが、1地区が策定し、その他2地区は策定準備段階までとなった。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	予算の平準化を図るため、購入年度計画に基づき、市指定避難所の備品や食料などの整備に努めていく。 地区防災計画策定を増加させるため、市は積極的に、自主防災会に策定支援を行っていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中正樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	防災行政無線管理事業			款項目	08-01-06	評価責任者	田中　正樹
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	危機管理担当	記入者	河野　淳
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	災害対策基本法・電波法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	防災行政無線等の整備		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	防災情報及び行政活動を迅速・的確に周知する		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		162,262,000円			
	決算額[B]		158,756,927円			
	執行率[B]/[A]		97.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・防災行政無線デジタル化整備工事費（143,065,800円） ・防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費（6,930,000円） ・防災無線連携CATV放送装置設置業務委託費（6,930,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	149,900,000円			
		その他特定財源				
		一般財源	8,856,927円			
	財源合計[C](=[B])		158,756,927円			
人件費	一般職員		60人日　1,609,300円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		200人日　1,804,000円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		3,413,300円			
総事業費[B]+[D]			162,170,227円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
防災つるメールの登録者数	年度末時点の登録実績値（累計）	件	目標値		1850.0	1900.0	1950.0	2000.0
			実績値	1800.0	1880.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	防災行政無線デジタル化工事の2期目（2年目）となり、大きな予算を必要となる年度であったが、デジタル化整備工事と合わせて、難聴地域（防災行政無線が聞こえない地域）に屋外拡声子局を設置するなど、これまでの課題に対応することができた。また、多様な方法（メール・CATV等）による伝達強化を進めていく。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・防災行政無線デジタル化整備工事費 ・防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に防災行政無線デジタル化工事が完了することから、令和3年度については予算の大幅な減額となるが、令和3年度以降についても、限られた予算の中で、防災行政無線事業の充実を図っていく。セーフコミュニティ事業において、「防災つるメール」の登録者を増加させる取り組みを実施していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中正樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	国際交流事業			款項目	02-01-01	評価責任者	田中　正樹
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	法制広報担当	記入者	程原　由和
会計	一般会計	事業開始年度	昭和58年度	法定根拠・法令等	都留市国際交流事業補助金交付要綱		
事業実施方法	その他			←その他の場合の詳細	補助金交付事業及び直接事業		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	5	地域間連携の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	都留・ヘンダーソンビル友好委員会、一般市民・事業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	アメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市との姉妹都市交流事業（小学校高学年～大人まで幅広い層での人的交流の実施）、中国四川省内江市との交流事業（令和元年度から開始）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民の国際理解と国際感覚を養うとともに、今後の継続的な交流発展に寄与する。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			1,019,000円			
	決算額[B]			153,547円			
	執行率[B]/[A]			15.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			中国四川省内江市との意向書締結にかかる物品・記念品購入（42,747円） 中国四川省内江市との意向書締結式会場使用料（91,800円）			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		153,547円			
	財源合計[C](=[B])			153,547円			
人件費	一般職員		12人日	321,860円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			321,860円			
総事業費[B]+[D]				475,407円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
国際交流情報の会員への提供	交流都市や都留・ヘンダーソンビル友好委員会の情報提供（累計）	回	目標値		3.0	5.0	7.0	9.0
			実績値	1.0	3.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公式訪問団来市の予定は、ヘンダーソンビル市側の事情により中止となった。都留興譲館高等学校の姉妹校訪問も新型コロナウィルス感染症の影響で中止となった。一方で、山梨県の姉妹県省である四川省の内江市との間で交流に関する意向書を締結し、将来的な交流活動への検討を開始している。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	姉妹都市交流となる公式訪問団の相互交流などへの金銭的・人的補助、情報提供を行い、都留・ヘンダーソンビル友好委員会の継続を促し、姉妹都市交流の継続を図っていく。また、中国四川省内江市との交流は、民間交流を基軸として様々な可能性を模索していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中　正樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	広報発行事業			款項目	02-01-03	評価責任者	田中　正樹
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	法制広報担当	記入者	程原　由和
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	2	市政情報提供手法の充実・多角化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民及び市外者（都留市出身者、移住・観光など都留市に興味を持った方）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	毎月１回の広報誌発行及び市ホームページ、各種ＳＮＳの管理運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市の行政情報や魅力を伝えること		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		10,428,000円			
	決算額[Ｂ]		9,242,066円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		88.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		広報印刷製本費（7,442,029円） 広報編集機器リース料（136,595円） ホームページシステム使用料（1,489,320円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	645,146円			
		一般財源	8,596,920円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		9,242,066円			
人件費	一般職員		220人日　5,900,767円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		5,900,767円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			15,142,833円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ホームページアクセス数	グーグルアナリティクスによるページビュー数（累計）	回	目標値		1493562.0	1657675.0	1821789.0	1985902.0
			実績値	1329449.0	1542155.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ホームページリニューアルに伴い、ウェブアクセシビリティの強化に取り組んでいるが、職員の意識はいまだ低く今後も随時指導が必要。また、各課に各課に読者重視のわかりやすい広報つるの原稿の提出を求めているが、広報誌に掲載することで各課の事業が周知できたと思ってしまう傾向があるため、職員の意識改革が必要。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に広報つるをリニューアルし、ホームページと各種ＳＮＳと連動させ、効果的な情報発信に取り組む。ホームページへのアクセス誘導ツールとしてＳＮＳによる情報発信を開始し、徐々に効果が表れているので、今後も職員への広報活動の方法の指導を継続し、さまざまな手段での情報発信を行っていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中　正樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと応援寄付金事務費			款項目	02-01-15	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	政策担当	記入者	三澤知貴
会計	一般会計	事業開始年度	平成20年度	法定根拠・法令等	地方税法、地方税法施行規則、総務省告示第179号		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市民全体 対象物：まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ふるさと納税寄附額向上のために、各ふるさと納税ポータルサイトを運用し、地場産品の掘り起こしを行う。 また、本市のPRをするためにふるさと納税の各種イベントに参加し、PRを強力に行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ふるさと納税による寄附件数と寄附額を成果とし、ふるさと納税を自主財源として事業を行うことにより、賑わいと活力あるふるさとづくりに資することを目的とする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		105,433,173円			
	決算額[B]		96,565,314円			
	執行率[B]/[A]		91.6%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 10,997,343円 ・ふるさと納税事務委託料 85,023,544円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		円			
人件費	一般職員		429人日　11,506,495円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		11,506,495円			
総事業費[B]+[D]			108,071,809円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ふるさと納税寄附受入額	都留市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の単年度での寄附受入額の実績値	千円	目標値		60000.0	70000.0	80000.0	100000.0
			実績値	12427.0	203842.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	各種ポータルサイトの導入や返礼品等数の増加が功を奏し、寄附額が飛躍的に向上した（前年度の16倍以上）。しかし、寄附状況を深堀すると、本市の返礼品等は寝具類など一過性の品が主であり、本市のリピーターとなるかが問題点と言える。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費など											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	本市のリピーターの増加を図るため、更なる地場産品の掘り起こしを行うとともに、既に導入している電子感謝券の普及をより一層図る。また、他の自治体と連携することによる共通の返礼品等を増加させ、新たな寄附者の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	行財政改革推進費			款項目	02-01-08	評価責任者	亀田　剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	企画担当	記入者	園田　裕也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方自治法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市が所有する公共施設等（公共建築物、インフラ）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設ごとの具体的な対応方針を定めるため、建物現況調査を実施したうえで、利用状況等を分析する施設カルテをまとめ、将来のまちづくりを見据えた計画とする。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現すること。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		9,493,000円			
	決算額[B]		9,273,000円			
	執行率[B]/[A]		97.7%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		都留市公共施設個別施設計画業務委託支援業務委託料			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	9,273,000円			
	財源合計[C](=[B])		9,273,000円			
人件費	一般職員		100人日　2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			11,955,167円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
庁内WG等の開催回数	個別施設計画策定にあたり、公共施設活用推進班（WG含む）を開催することにより公共施設の適正配置及び利活用を進める。	回	目標値		3.0	4.0	5.0	6.0
			実績値	0.0	7.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公共施設個別施設計画策定支援業務委託業者（有限責任監査法人トーマツ）の提案した策定スケジュールに基づき、実施しており、令和1年度は今後の方向性を問う市長ヒアリング、建物現況調査、公共施設活用推進班での研修等を実施した。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	委託料については、有限責任監査法人トーマツと2か年（19,778,000円）で契約済。今後は委託業者と連携する中で、教育委員会所管施設の計画と合わせて、各施設の廃止、機能転用、改修等の経費を平準化し、実施計画に落とし込み、財源の裏付けがある実効性の高い計画としていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公立大学法人都留文科大学関係費			款項目	09-04-01	評価責任者	亀田　剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	企画担当	記入者	園田　裕也
会計	一般会計	事業開始年度	H21	法定根拠・法令等	地方独立行政法人法、定款		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	1	知の資源と連携したまちづくり
	施策	2	★知の拠点である大学等と地域の魅力づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 本市が設立している公立大学法人都留文科大学に対し、地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、運営費交付金を交付する。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 法人の資金計画に基づき、経費の性質に応じた運営費交付金（標準運営費交付金、特定運営費交付金、施設整備等補助金）を法人に支出する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公立大学法人都留文科大学の運営に支障がないように財源措置する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		976,776,000円			
	決算額[B]		976,776,000円			
	執行率[B]/[A]		100.0%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		標準運営費交付金 976,776,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	976,776,000円			
	財源合計[C](=[B])		976,776,000円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,341,083円			
総事業費[B]+[D]			978,117,083円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
法人の業務実績評価（総合評定）	各事業年度における法人の業務実績評価の総合評定　※該当年度の評点は前年度値をもとに算出		目標値		3.7	3.8	3.9	4.0
			実績値	3.6	3.7			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在、運営費交付金は、施設整備を除き、普通交付税算定における基準財政需要額をベースとしたルールを定め、法人に交付しているが、法人における人件費の増加や目的積立金の減少等に伴い、標準運営費交付金が増加している状況にあるため、算定ルールの再検討が必要な時期となっている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後は、県より取得した旧南都留合同庁舎の土地・建物の利活用を含めた知のﾌｫﾚｽﾄｷｬﾝﾊﾟｽ構想及び法人が策定する個別施設計画に基づく既存建物の施設改修等が控えているため、大学運営費基金の有効活用と法人への更なる経費削減を求めていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	情報ネットワーク管理事業			款項目	02-01-09	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：通信ネットワーク、端末、プリンター、各種サーバ等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域イントラネット及び情報系システムの維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市職員が効率的に業務ができる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			97,139,292円			
	決算額[B]			89,588,460円			
	執行率[B]/[A]			92.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			ネットワークシステム保守業務委託 11,580,160円 自治体情報システム強靭化ネットワーク運用保守 5,886,000円			
	財源内訳	国庫支出金		165,000円			
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源		14,555,000円			
		一般財源		74,868,460円			
	財源合計[C](=[B])			89,588,460円			
人件費	一般職員			225人日 / 6,034,875円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員			0人日 / 円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			6,034,875円			
総事業費[B]+[D]				95,623,335円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
情報セキュリティインシデント	情報の機密性、完全性及び可用性が維持できない事象等ヒヤリハット数（発生件数/年）	件	目標値		1.0	1.0	0.0	0.0
			実績値	2.0	1.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	平成31年4月に本来、3階層で構成されるセキュリティポリシーにおいて、マニュアル的な位置づけとなる「実施手順」を策定し、職員を対象とした説明会を実施した。今後も説明会の開催等により、継続して情報セキュリティ意識の向上を図っていく。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・資産管理システムサーバライセンス等リース料											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	庁内のネットワーク・インフラ環境のリスク対策強化及び適正なIT資産管理の運用の実現を可能とするため、IT資産管理システムを導入し、適正な管理、運用を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	基幹系システム管理事業			款項目	02-01-09	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民 対象物：各種証明書		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 住民票、戸籍及び税証明等の各種証明書を発行する基幹系システムの維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市民が必要な時に必要な証明書を取得できる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			80,645,580円			
	決算額[B]			79,896,842円			
	執行率[B]/[A]			99.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			基幹系システム運用保守 12,046,680円 基幹系システムソフト使用料 12,818,400円			
	財源内訳	国庫支出金		2,391,000円			
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		77,505,842円			
	財源合計[C](=[B])			79,896,842円			
人件費	一般職員			220人日　5,900,767円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員			0人日　円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			5,900,767円			
総事業費[B]+[D]				85,797,609円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
安定稼働	接続不可等のエラー、不具合件数件（発生件数/年）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	3.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現行の基幹系システムは、「令和3年12月末日」に契約期間満了を迎えるため、基幹系システムの最適化を目的とした調達計画を含む「都留市ICT最適化計画」を策定した。今後、ICT最適化計画に基づき、適正なシステム選定及び、着実なシステム構築に努める。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・都留市基幹システム更改に伴う構築業務委託											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	次期基幹系システムの調達、構築については、将来的な自治体クラウドへの移行を見据え、カスタマイズを極力抑えるよう業務フローの見直しも実施し、費用の適正化、業務の効率化に努める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	各種業務システム管理事業			款項目	02-01-09	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：情報系システム及び基幹系システム以外のシステム		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 統合型GISシステム等の維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市職員が利用したいときに利用できる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		4,383,000円			
	決算額[B]		4,360,960円			
	執行率[B]/[A]		99.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		統合型GIS運用保守 2,138,400円 電子申請等システム共同化事業負担金 1,155,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	584,000円			
		一般財源	3,776,960円			
	財源合計[C](=[B])		4,360,960円			
人件費	一般職員		100人日 2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			7,043,127円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
システム利用の拡充	GIS搭載レイヤー数（レイヤー累計数）	件	目標値		1510.0	1520.0	1530.0	1540.0
			実績値	1503.0	1511.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現行の統合型GISシステムの契約満了（令和2年10月末）となるため、本システムの更改に向けて、基幹系システムとの連携などについて検討する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	庁内全体の統合型GISシステムの利活用による業務効率化を図るため、更なる検討、研究を進め、再構築の方針を決定し、統合型GISシステムの再構築を進める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	総合行政ネットワーク事業			款項目	02-01-09	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：サーバ及びネットワーク機器		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークの維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地方公共団体間の円滑なコミュニケーション及び情報の共有が図れる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		271,000円			
	決算額[Ｂ]		270,864円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	270,864円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		270,864円			
人件費	一般職員		65人日	1,743,408円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		0人日	円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[Ｄ]		1,743,408円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,014,272円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
安定稼働	常時、稼働し、利用できない状態を発生させない。等に対するヒヤリハット数（発生件数/年）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	これまで通り、ネットワーク保守業者と連携を図る中で、ネットワーク環境の適正な運用管理に取り組む。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	安定稼働が原則であり、停止してしまうと他団体にも影響が及ぶため、細心の注意を払い、適正な管理を継続していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☐	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	社会保障・税番号制度事業			款項目	02-01-09	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民 対象物：特定個人情報（マイナンバーを含む個人情報）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 情報連携が可能な事務手続において、これまで提出する必要があった書類を省略できるようにし、都留市民の利便性を高める事業。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市民にとって、社会保障・税制度の効率性を高め、利便性の高い、公平・公正な社会が実現できる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		445,128円			
	決算額[B]		円			
	執行率[B]/[A]		0.0%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		※業務主管課での執行となったため、当該事業からは未執行となった			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		円			
人件費	一般職員		110人日　2,950,383円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,950,383円			
総事業費[B]+[D]			2,950,383円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用拡大	マイナポータルの利用件数（利用件数/年）	件	目標値		100.0	200.0	250.0	300.0
			実績値	0.0	124.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	マイナンバー制度の活用により、事務手続きが簡略化し、市民の利便性を高めるため、図書館利用など行政サービスでの利用できる仕組みづくりと、公的個人認証サービス等の導入の可能性について研究、検討し、利用拡大を図る必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共に、独自利用の研究、検討を行う。また、利用拡大を図るため、市内の企業や各種団体等を対象として、希望の会場に出向いてマイナンバーカードの申請を受け付ける「出張申請受付方式」を本格的に実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	生涯活躍のまち・つる事業			款項目	02-01-14	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	まち・ひと・しごと創生法、地域再生法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民全体、まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内に立地する3大学等や民間事業者等と連携し、生涯にわたって活躍できる受け皿をソフト・ハードともに整備する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 本市に住む市民全体の豊かな暮らしの実現		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		284,758,000円			
	決算額[Ｂ]		202,379,639円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		71.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		委託料（推進協会15,000,000円）、負担金（東京ブース5,000,000円、単独型整備19,589,479円）、補助金（推進協会15,093,069円、サ高住住宅整備補助144,000,000円）			
	財源内訳	国庫支出金	17,365,334円			
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	2,467,050円			
		一般財源	198,009,008円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		217,841,392円			
人件費	一般職員		400人日 10,728,667円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		10,728,667円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			213,108,306円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
生涯活躍のまち・つるに伴う移住候補者の確保	生涯活躍のまち・つる事業に伴う移住促進事業で、移住候補者名簿に登載された人数（累計）	人	目標値		836.0	871.0	906.0	941.0
			実績値	801.0	861.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	単独型PJについては、年度中旬にサ高住、下谷交流センターともオープンし、順調に入居・利用者が増えている。次年度は、既存の推進協会（任意団体）から法人格を有する団体が、生涯活躍のまち・つる事業全体をマネジメントする見込み。また、複合型PJについても、事業者選定などを含め本格的に事業が動き出す。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		複合型居住プロジェクト（地域交流拠点施設の整備）											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	複合型PJでは、R3・4年度にかけて地域拠点施設の建設予定など、ハード面の整備を進めていくため、全体の事業費は増加見込み。また、サ高住等を整備する（民間）事業者の公募、エリア全体の統一感（景観、建物の構造等）も勘案しながら、その後の選定を適切に行い、複合型PJを推進する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業			款項目	02-01-08	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	地域おこし協力隊推進要綱（H21総行応第38号）		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民全体、まち全体
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都市部に居住する方に、本市に移住してもらい、様々な活動を通してまちづくりを進める。
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 隊員の定住と新たな産業（起業）の創出

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		16,000,000円			
	決算額[B]		13,140,998円			
	執行率[B]/[A]		82.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・報酬　498,000円 ・報酬　6,872,500円 ・委託料　2,142,661円 ・負担金　2,375,400円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		円			
人件費	一般職員		100人日　2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			15,823,165円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住と、起業の数	現状の隊員が任期終了後に、定住や起業した数を目標値とする。(小計)定住、起業それぞれ1カウント。	人	目標値		0.0	0.0	1.0	3.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企画課では「移住・定住に向けた対応」などをミッションとする日常業務を行う為、任期中は専門・具体的な産業や事業への従事でない(生計を立てる仕事に直結していない)ので、任期終了後の定住に繋がり難い。次年度からは、まちづくり団体に所属する方を隊員として受入れ、仕事づくりを行う中で定住可能性を高めていきたい。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年4月より、地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、市で雇用する場合には、各種手当も必要となる会計年度任用職員という身分になったが、企画課では、直接雇用はせずに、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、引き続き、まちづくりの取組みを推進いただく予定。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	定住人口対策費			款項目	02-01-08	評価責任者	亀田剛
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成23年度	法定根拠・法令等	都留市移住定住促進奨励金交付要綱、都留市空き家バンク利活用事業補助金交付要綱、都留市快適遠距離通勤補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	5	★移住促進と定住支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民（転入者を含む）全体、まち全体		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	本市へのU・J・Iターンを希望する移住者や、定住を望む方へ補助金等を交付し、人口減少対策につなげる。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	人口減少の克服		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		15,750,000円			
	決算額[B]		14,390,900円			
	執行率[B]/[A]		91.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・移住定住促進奨励金 11,880,000円 ・遠距離通勤補助金 1,950,900円 ・空き家バンク利活用補助 560,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	14,390,900円			
	財源合計[C](=[B])		14,390,900円			
人件費	一般職員		220人日 5,900,767円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		5,900,767円			
総事業費[B]+[D]			20,291,667円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助事業に伴う移住・定住者数	補助事業に伴い移住及び定住につながった人数（属する世帯を含む）（累計）	人	目標値		35.0	40.0	50.0	60.0
			実績値	31.0	61.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⇔ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	消費増税に伴う駆込新築もあるが、令和元年度から改正し対象を拡充した移住定住促進奨励金の利用が急増した。又、当初は令和元年度末失効予定の遠距離通勤補助を、一定の定住効果があることから3年間延長した。更に次年度から、遠距離通学補助制度を新設し、大学等への進学時においても、定住を支援する制度を整備した。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	遠距離通勤・通学補助については、一定距離を通勤又は通学する場合には、方面に限らず補助の対象としたので、利用者の拡大も予想される。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地方公会計制度推進事業			款項目	02-01-04	評価責任者	高山　竜一
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	財政担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 職員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 統一的な基準に基づく財務書類の作成		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 統一的な基準に基づく財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）の作成及び指標を用いた分析		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			5,364,000円			
	決算額[B]			4,713,542円			
	執行率[B]/[A]			87.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			作成支援業務委託等 5,240,871円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		4,713,542円			
	財源合計[C](=[B])			4,713,542円			
人件費	一般職員		20人日	536,433円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			536,433円			
総事業費[B]+[D]				5,249,975円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計等に係る指標	有形固定資産減価償却率、基礎的財政収支、純資産比率等による分析	個	目標値		9.0	9.0	9.0	9.0
			実績値	9.0	9.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	統一基準に基づく財務書類の作成が3年目となり、作成する内容等もある程度定まったため、助言指導等を監査法人から税理士へ変更したことに伴い、費用負担が減少し、きめ細やかで包括的な支援を受けることも可能となり、作成に要する時間も大幅に減少させることができた。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	財政状況資料集の中で類似団体比較が可能となったため、都留市の財政運営の参考指標として活用するとともに総務省に設置されている「地方公会計の推進に関する研究会」の協議内容を注視し、活用策などの方針が示された時点で適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山　竜一 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	財産管理関係経費			款項目	02-01-06	評価責任者	高山　竜一
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	管財担当	記入者	石川　陽一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象物：市役所庁舎		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	庁舎の修繕・管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	庁舎の良好な状態の確保や長寿命化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		90,048,000円			
	決算額[B]		54,922,830円			
	執行率[B]/[A]		61.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		庁舎地下１階照明LED取替修繕　1,263,600円 北別館及び第二北別館屋根修繕　4,950,000円 都留市役所非常用発電設備設置及び幹線増設工事 13,370,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	22,566,400円			
		一般財源	32,356,430円			
	財源合計[C](=[B])		54,922,830円			
人件費	一般職員		258人日　6,919,990円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		6,919,990円			
総事業費[B]+[D]			61,842,820円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
光熱費の削減	節電対策を行うことにより、光熱費の削減を図る	千円	目標値		3500.0	3500.0	3500.0	3500.0
			実績値	3628.0	3980.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和元年度、猛暑日等によるエアコン使用回数の増加等により、電気料金が増加したため、料金是正に向け、電力供給業者を入札により、株式会社関電エネルギーソリューション及び川重商事株式会社としたが、切り替えた4～５月分の電気代単価が高額になってしまった。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	光熱費の削減方法について検討する。また、電気料金が高くなるため、古いエアコン等の入替を順次実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山　竜一　☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公用車車両管理経費			款項目	02-01-07	評価責任者	高山　竜一
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	管財担当	記入者	石川　陽一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象物：公用車		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市の所有する公用車の適正な管理及び整備、老朽化・破損による修繕、車両の買替、車検・定期点検 安全運転の徹底		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	公用車の適正な配置、車両事故の減少		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]			22,012,000円			
	決算額[Ｂ]			19,942,562円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]			90.6%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			燃料費　3,891千円 高速道路使用料 2,901千円 公用車4台購入　6,834千円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源		741,162円			
		一般財源		19,201,400円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])			19,942,562円			
人件費	一般職員		90人日	2,413,950円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員		240人日	1,562,400円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[Ｄ]			3,976,350円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]				23,918,912円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事故の件数	講習安全講習などを開催し、事故件数の減少を目指す。	件	目標値		26.0	24.0	22.0	20.0
			実績値	33.0	26.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公用車の事故を減らすために研修会等を実施しており、事故件数は減ってはいるが若者の車離れの影響で注意不足による事故が多い。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	公用車の事故を減少させるために定期的に研修会及び実技研修を実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山　竜一 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	結婚相談事業			款項目	02-01-15	評価責任者	佐藤　好男
担当部	市民部	担当課	市民課	担当	市民窓口担当	記入者	前田　知子
会計	一般会計	事業開始年度	昭和61年度	法定根拠・法令等	なし		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	結婚を希望する独身者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	第2・4水曜日17時～19時市役所2階相談ブースにて結婚相談所開設し、結婚相談員が独身者の相談に応じている。また年に2回、パーティーを実施し出会いの場を提供している。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	結婚を希望する独身者の相談に応じ、紹介・引き合わせ等を行ったり、出会う機会の少ない男女の交流の場の提供など、結婚に向けての支援を図り、市の少子化対策、人口増加につなげる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		962,000円			
	決算額[B]		607,175円			
	執行率[B]/[A]		63.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		結婚相談員謝礼　355,000円 消耗品費　31,036円 施設使用料　172,333円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	90,000円			
		一般財源	517,175円			
	財源合計[C](=[B])		607,175円			
人件費	一般職員		5人日	134,108円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		48人日	432,960円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		567,068円			
総事業費[B]+[D]			1,174,243円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
カップル成立数	ふれあいパーティーにおけるカップル成立数（累計）	組	目標値		19.0	22.0	25.0	28.0
			実績値	16.0	19.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	結婚相談所登録者数の男女比の差（令和2年1月末現在：男性51名、女性7名）や登録者の年齢構成（20代3名、30代11名、40代30名、50代10名、60代4名）に偏りがあるため、結婚相談員が紹介や引き合わせを行っても成婚につながる数が少ない。女性や若年層の登録者を増やすことが課題である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	ふれあいパーティーへの参加者は相談所登録者に限っていないため、女性や若年層の参加も多い。パーティー参加者へ相談所登録への魅力をアピール（結婚相談員が希望にそった相手に引き合わせてくれる等）し、登録者の増加へとつなげる。また、パーティーの内容を見直すことによって、カップルの成立数を増やす。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	佐藤　好男　☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	コミュニティセンター管理事業			款項目	02-01-06	評価責任者	佐藤 好男
担当部	市民部	担当課	市民課	担当	市民窓口担当（コミセン）	記入者	田中　健
会計	一般会計	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	コミュニティセンター条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内4地域コミュニティセンターの管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市内4地域コミュニティセンターの適正な施設管理を行うことにより、地域活動の拠点として、支所業務、まちづくり事業、貸館業務等、市民サービスの提供を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民活動の拠点として、利用率の向上を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			13,009,000円			
	決算額[B]			11,268,015円			
	執行率[B]/[A]			86.6%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			需用費　4,766,803円 内光熱水費 2,741,718円 内修繕費　1,026,655円 委託料　6,295,136円 内管理委託業務 2,508,000円 内機械警備 1,789,140円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		11,268,015円			
	財源合計[C](=[B])			11,268,015円			
人件費	一般職員		360人日	9,655,800円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		120人日	1,082,400円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			10,738,200円			
総事業費[B]+[D]				22,006,215円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
貸館利用団体数	貸館利用団体数を増加させる（学童保育施設を除く） 目標値：全会議室数13×稼働日数（255日）×0.5 （稼働日数の50%を想定）	団体	目標値		1600.0	1650.0	1655.0	1660.0
			実績値	1485.0	1593.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	利用団体数が前年度（1,485団体）に比べ大幅に増加しており、4地域コミュニティセンターにおいて前年度と同等もしくは増加している状況である。利用者をさらに増加させるためには、安全・安心な施設の提供はもちろんのこと、利用者が利用しやすい施設とすることも重要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	宝コミセンを除く各施設においては老朽化による施設や設備の不具合等の状況を確認し、安全安心な施設の提供を目指し、個別施設計画により計画的に施設の長寿命化を図っていく。また、東桂コミセンにおいては老朽化による不具合が多数発生していることから、大規模改修等を検討する中で計画的な施設管理を行っていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	佐藤 好男 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	債権回収特別対策費			款項目	02-01-15	評価責任者	重森　雅貴
担当部	市民部	担当課	税務課	担当	収納対策室	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方税法・都留市市税条例など		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内住民･法人、固定資産を所有する市外住民･法人　等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	債権回収業務に係る職員の技術向上		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	税等負担の公平性の確保と財政力の強化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		7,862,060円			
	決算額[B]		7,774,683円			
	執行率[B]/[A]		98.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		短時間勤務職員人件費7,202,268円、債権回収アドバイザー業務委託料546,000円、債権回収のための旅費7,300円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,774,683円			
	財源合計[C](=[B])		7,774,683円			
人件費	一般職員		10人日	268,217円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		268,217円			
総事業費[B]+[D]			8,042,900円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市税収納率	市税の収納率	%	目標値		95.5	95.8	96.2	96.5
			実績値	95.4	95.9			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	差押件数は昨年から100件以上増加し、捜索回数も増えるなど滞納処分強化により、市税収納率は県下平均を超えた。次年度以降も滞納者数をさらに減らしていく（増加させない）ため、引き続き現年分滞納者等が早期に納税するよう催告を行うとともに、分納管理を徹底していく。また、差押に至るまでの調査（事務）においては、住基ネットを利用し効率化を図るなど、スピード感をもって滞納整理を行っていく。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	滞納発生後の速やかな催促や財産調査を実施し、財産調査等を行った場合は迅速・的確な処分の執行を行う。差押えした資産については引き続き公売を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	重森　雅貴 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	賦課徴収費			款項目	02-02-02	評価責任者	重森　雅貴
担当部	市民部	担当課	税務課	担当	収納対策室	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方税法・都留市市税条例など		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内住民･法人、固定資産を所有する市外住民･法人　等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市税料の賦課徴収		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市税料の賦課徴収の適正化及び事務効率化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		79,328,000円			
	決算額[Ｂ]		69,342,896円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		87.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		確定申告時などの短期事務補助員2名の賃金等727,103円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,185,039円、賦課徴収に係るシステム保守業務･固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料34,358,888円、家屋評価システム等の使用料7,541,701円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	13,515,233円			
		一般財源	55,827,663円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		69,342,896円			
人件費	一般職員		4310人日　115,601,383円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		480人日　4,329,600円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		119,930,983円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			189,273,879円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
電子申告率	給与支払報告書電子申告率の上昇	%	目標値		35.6	39.0	42.3	45.8
			実績値	32.3	35.6			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	家屋評価システムの入替により、過年度基準による評価が可能となり評価の効率･適正化が図られた。申告支援システムの運用、課税資料入力業務の外部委託化等によって、課税誤りの防止など税の公平性の確保につながっている。給与支払報告書や償却資産等の電子申告率が低い水準となっているため、引き続き利用促進の方策を講じる必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		･償却資産調査課税事務 ･電子マネー等による納付等対応費用及び手数料											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	先進地域や近隣市町村の動向を研究するなかで、ICTの活用や外部委託化の導入などについて検討し、更なる税負担の公平性の確保につなげていく。また、口座振替納付の促進、収納(納付)方法の多様化を検討･推進することで、滞納者を減少させる方策も行う。電子申告を推進し利用者を増加させることで、入力等の事務が削減、人的ミスも防止できることから、広報や説明会等を積極的に行っていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	重森　雅貴 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	交通安全対策事業			款項目	02-01-11	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	5	★交通安全対策の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民、都留市交通対策推進協議会、都留市交通安全連合会		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内における交通事故の減少、市民の交通安全意識の向上のため関係機関と連携をし、交通安全週間等を活用し多くの市民に啓発を実施する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における交通事故発生件数（死亡者数・負傷者数）の減少、市民の交通法規の順守		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		4,081,000円			
	決算額[B]		3,705,554円			
	執行率[B]/[A]		90.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		街頭啓発活動物品（206,987円） 高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品（830,000円） 交通安全連合会補助金（500,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	640,000円			
		一般財源	3,065,554円			
	財源合計[C](=[B])		3,705,554円			
人件費	一般職員		65人日　1,743,408円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,743,408円			
総事業費[B]+[D]			5,448,962円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
交通事故負傷者数	市内における交通事故負傷者数（小計）　年度ではなく年	人	目標値		90.0	85.0	80.0	75.0
			実績値	95.0	74.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高齢者免許証返納者支援事業に関して、事業開始（H25）から返納者の増加に伴い、贈呈品（公共交通回数券）の報償費は年々増加しているが、使用率は低調である（令和元年度　バス5.9%、タクシー7.1%）であるため、利用してもらう方策を検討するか、回数券に代わる代替案を検討する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	啓発が主な事業となっているので、各種団体のみならず、セーフコミュニティ交通安全対策委員会と連携し、より効果的な啓発方法を実施し、市内における交通事故発生件数等の減少を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	交通安全施設設置事業			款項目	02-01-11	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	交通安全対策基本法、都留市交通安全条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	5	★交通安全対策の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民（主に運転手）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	交通事故を防止するため、交通危険箇所にカーブミラー等の交通安全施設を設置する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内における交通事故の減少（主に車両事故）		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			4,536,000円			
	決算額[B]			3,406,985円			
	執行率[B]/[A]			75.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			・カーブミラーの設置及び修繕費（1,273,420円） ・カーブミラー原材料購入（2,113,045円）			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		3,406,985円			
	財源合計[C](=[B])			3,406,985円			
人件費	一般職員			22人日	590,077円		
		対象外事業分			円		
	嘱託職員			0人日	円		
		対象外事業分			円		
	臨時職員				円		
	別担当職員				円		
	人件費合計[D]			590,077円			
総事業費[B]+[D]				3,997,062円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
修繕箇所	交通安全施設（カーブミラー）危険度調査を反映した長期修繕計画に基づく修繕（累計）	箇所	目標値		70.0	110.0	150.0	180.0
			実績値	35.0	70.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	GISへ交通安全施設（カーブミラー）の情報を落とし込み、従前の台帳管理と現況写真を統合することができたので、市民からの問合せに迅速に対応することが可能となり、今後の事務効率の向上が図れる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	交通安全施設危険度調査を基に策定した長期修繕計画に沿って実施していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域公共交通対策費			款項目	02-01-11	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	4	★効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民・公共交通事業者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	路線の維持のため、公共交通事業者の赤字に対する補填。利用者増加のため市民等に実施する利用促進事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	ニーズに沿った利便性の良い交通網（時刻・便数・ルート）及び市民満足度の高い公共交通の実現		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		24,944,000円			
	決算額[Ｂ]		22,420,656円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		89.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・生活バス路線維持費補助金（19,671,000円） ・予約型乗合タクシー運行事業補助金（2,466,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	106,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	22,314,656円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		22,420,656円			
人件費	一般職員		60人日　1,609,300円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,609,300円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			24,029,956円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数	補助対象路線の利用者人数（路線バス・循環バス・乗合タクシー） ※補助対象期間で算定（10月～9月）小計	人	目標値		30208.0	30238.0	30268.0	30298.0
			実績値	30178.0	29900.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	一部路線では促進策により乗車人数は増加しているものの、乗車人数の増加以上に人件費及び燃料費の高騰により事業費の経常経費の増加が上回っているため、補助額は年々増加している。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		市民意識調査の実施											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	第6次長期総合計画中期計画策定に向け実施した市民意識調査によると、「適切で効率的な公共交通の選択と整備」は市民が重要だと考えているが、満足度が低い項目であったため、公共交通に特化した市民意識調査の実施により、ニーズ把握をし、利用される公共交通を目指す。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	まちづくり推進事業			款項目	02-01-13	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成12年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	1	★まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 自治会、自治会連合会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 自治会連合会を介しての市内自治会に対する助成金、地域独自の活動に対する補助金を交付することにより地域コミュニティの維持・活性化を図る。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 コミュニティ活動の維持及び活動の活性化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		18,409,000円			
	決算額[B]		17,325,866円			
	執行率[B]/[A]		94.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 （12,048,900円） ・自治会施設等整備事業 （1,754,800円） ・防犯灯整備事業 （2,967,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	17,325,866円			
	財源合計[C](=[B])		17,325,866円			
人件費	一般職員		88人日　2,360,307円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,360,307円			
総事業費[B]+[D]			19,686,173円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
自治会加入率	市内全世帯に対する自治会に加入している世帯割合	%	目標値		66.8	66.9	67.0	67.1
			実績値	66.7	65.1			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	助成金、補助金による維持のみで活動はマンネリ化しており、高齢化によりどの自治会も活動が縮小傾向にあるため、次年度から積極的な活動及び財政支援を目的とした自治会活動保険への加入を実施する。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	H30に実施した自治会アンケートの結果から、新規世帯に対する勧誘方法が分からず、不安を持っている自治会長が多いことから、令和元年度に作成した「自治会加入促進マニュアル」により、支援していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	協働のまちづくり事業			款項目	02-01-13	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成13年度	法定根拠・法令等	都留市自治基本条例第5章第4節に基づく支援		
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	地域協働のまちづくり推進会		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	地域における各種活動（文化・防災・防犯等）を企画・実践して自主的に行っている地域協働のまちづくり推進会に対し、活動の事業費を補助する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	自治基本条例に規定された地域コミュニティの促進を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			2,300,000円			
	決算額[B]			2,106,678円			
	執行率[B]/[A]			91.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			協働のまちづくり事業補助金（東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里）			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		2,106,678円			
	財源合計[C](=[B])			2,106,678円			
人件費	一般職員		28人日	751,007円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		44人日	396,880円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			1,147,887円			
総事業費[B]+[D]				3,254,565円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
連絡会及び研修の開催数	各地域の協働の活動の推進となるよう連絡会・研修会等を年３回以上開催する。（累計）	回	目標値		3.0	6.0	9.0	12.0
			実績値	3.0	2.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	自治会同様に地域の高齢化・担い手不足が深刻な問題となっている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に市民活動団体交流会を実施し、地域協働のまちづくり推進会を含む市内登録団体（約50団体）の横断的な連携を図り、協働のまちづくりの事業に新たな担い手を発掘していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			款項目	02-01-13	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成12年度	法定根拠・法令等	都留市男女共同参画基本条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民、事業所		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	推進計画の策定、計画に基づいた庁内及び市内各事業所に対する取組、推進委員会による各種啓発活動の実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	男女共同参画の推進・啓発、認知度の上昇		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			818,000円			
	決算額[B]			389,589円			
	執行率[B]/[A]			47.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			男女共同参画推進委員報酬 370,000円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		389,589円			
	財源合計[C](=[B])			389,589円			
人件費	一般職員			86人日 2,306,663円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員			0人日 円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			2,306,663円			
総事業費[B]+[D]				2,696,252円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
都留市男女共同参画推進フェスティバル満足度	都留市男女共同参画推進フェスティバルの参加者アンケートにおける満足度（大変良かった）	%	目標値		45.0	48.0	50.0	52.0
			実績値	42.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	－			
平均得点	3.5			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	第3期都留市男女共同参画推進計画の前期推進計画（平成28～令和3年の6年間）の目標に対する取組にバラつき（実施の有無）が生じているため、後期推進計画策定を見据え、取組を実施していく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	男女共同参画推進計画の目標達成に向け、市民・事業者との連携をする上で、目標達成に向けた優先順位の確立、男女共同参画推進委員との連携を強化していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	セーフコミュニティ事業			款項目	02-01-13	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	1	★地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	より安全・安心なまちづくりの実現に、各種統計データ等を根拠とし、市民が中心の安全・安心活動を実施し、まちづくりに向けた取組を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内における事けがの減少、市民の不安感の解消、コミュニティ活動の活性化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,062,000円			
	決算額[B]		1,948,123円			
	執行率[B]/[A]		63.6%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		推進業務委託　1,072,500円 先進地視察旅費　297,316円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,042,426円			
	財源合計[C](=[B])		2,042,426円			
人件費	一般職員		450人日 12,069,750円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		12,069,750円			
総事業費[B]+[D]			14,017,873円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
6つの対策委員会による会議及び活動回数	活動主体である対策委員会による協議により、決定した活動を市民とともに実践していく。（累計）	回	目標値		36.0	76.0	116.0	146.0
			実績値	18.0	70.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留市における重点分野、課題の抽出を今年度行い、次年度以降は具体的取組を実践していくことになる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		現地審査、認証式典実施に伴う予算増加											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度の事前指導を踏まえ、活動内容の修正を行い、令和3年度の現地審査に向けていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	合併処理浄化槽設置費補助事業			款項目	004-02-80	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境保全担当	記入者	若井美穂
会計	一般会計	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	都留市浄化槽設置事業補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：下水道事業計画区域外へ合併処理浄化槽を設置する申請者　対象物：合併処理浄化槽の設置費		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 申請者に対して、補助金を交付する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 合併処理浄化槽を設置することにより、水質を保全する。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			29,370,000円			
	決算額[B]			22,824,000円			
	執行率[B]/[A]			77.7%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			浄化槽設置事業補助金 22,790,000円 ※以下の国と県の支出金の差額3,068,000円は、年度間調整における減額調整			
	財源内訳	国庫支出金		4,528,000円			
		県支出金		7,596,000円			
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		10,666,000円			
	財源合計[C](=[B])			22,790,000円			
人件費	一般職員		230人日	6,168,983円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			6,168,983円			
総事業費[B]+[D]				28,992,983円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
合併浄化槽の設置数	合併浄化槽の設置数（小計）	基	目標値		72.0	72.0	72.0	72.0
			実績値	38.0	62.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	4			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	補助金の性質上、家の新築や、浄化槽の入替等をする人だけに限られる。制度については設置業者が把握しており、問い合わせや申請は事業者からである。周知は充分行われており、市内でどれだけ浄化槽が設置されるかが件数に影響する。令和２年度の要綱変更に向けて事業者へ通知している。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		国の要綱変更に伴い、単独処理浄化槽撤去費及び宅内配管の補助が追加された。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和２から６年度までの５ヶ年計画を国へ提出済みである。合併処理浄化槽の設置はこれまでの５年間どおり毎年７２基、新規補助については単独処理浄化槽の撤去費１０基、宅内配管１０件を想定している。広報やHPにて周知していきたい。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤　浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	環境保全対策事業			款項目	004-03-10	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境保全担当	記入者	若井美穂
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市まちをきれいにする条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	各種環境保全事業の実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	快適な住環境の保全		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		7,879,000円			
	決算額[B]		6,863,167円			
	執行率[B]/[A]		87.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		美化指導員活動 408,000円 河川水質検査 220,000円 自動車騒音常時監視業務 1,188,000円 不法投棄廃棄物処理業務 288,680円 除塵設備設置3,355,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	6,863,167円			
	財源合計[C](=[B])		6,863,167円			
人件費	一般職員		100人日 2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			9,545,334円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
浄化槽法定検査受験指導通知	浄化槽の法定検査の未受検者に通知し受験指導する	件	目標値		700.0	700.0	700.0	700.0
			実績値	611.0	640.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	2			
平均得点	3.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	不法投棄廃棄物処理業務については、不法投棄が無くなれば必要のない事業である。不法投棄防止にかかる啓蒙活動が重要である。水質も同様に浄化槽の適正な管理を促すため啓蒙活動が重要である。本年度は啓発チラシを全地区で回覧し、PR動画を放映したが、ふれあい講座等直接訴える場が、地道ではあるが効果的だと考える。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	自動車騒音常時監視業務等必ず実施しなければならない事業や、不法投棄廃棄物処理等、市民の心掛けで必要のなくなる可能性のある事業が混在しているので、今後の啓蒙活動等でコストの削減が図れる可能性がある。ポイ捨て禁止を含めたごみの減量化のPRを積極的に行うと同時に水質向上のため、浄化槽の法定検査受験指導を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤　浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	清掃事業			款項目	004-03-60	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境保全担当	記入者	若井美穂
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	生ごみ処理機具設置費補助金交付要綱等		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	1	いつまでも美しいまちづくり
	施策	2	ごみの適正な処理と減量化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	ごみステーションボックスの貸与、生ごみ処理器具設置事業補助金の交付		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	ごみの減量化		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]			34,703,463円			
	決算額[Ｂ]			33,134,586円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]			95.5%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			ごみステーション用ダストボックス　1,447,200円 犬・猫等死体回収業務 717,600円 一般廃棄物最終処分場負担金等　26,741,500円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源		35,000円			
		一般財源		33,099,586円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])			33,134,586円			
人件費	一般職員			75人日　2,011,625円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員			0人日　円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[Ｄ]			2,011,625円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]				35,146,211円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
死体回収業務の減少	犬の登録の管理徹底や猫のTNR活動を通して車に轢かれる犬・猫等の減少を図る	匹	目標値		70.0	65.0	60.0	55.0
			実績値	74.0	55.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要なものである。これらのものは市民生活に直結しているので、必要であると思われる。動物の死骸は廃棄物扱いとなり、小動物死体回収業務においては年々単価が上昇していることから、犬の登録管理の徹底や猫のTNR活動を通して、車に轢かれる小動物の減少を図りたい。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後もごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理器具設置費補助金は設置することにより、ごみ減量化が図れることから現状維持とする。ボランティア団体と協力する中で猫のTNR活動を実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤　浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	空家等対策推進事業			款項目	02-01-15	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	小俣昌寛
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内の空家等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	管理不全空家等の適正管理の指導、利用可能空家等の活用推進、空家問題解決のための啓発		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内の空家等の適正管理、活用、発生抑制		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,218,000円			
	決算額[B]		150,020円			
	執行率[B]/[A]		4.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		空家等対策協議会委員報酬（40,000円） 空家等対策に係る実務講習会等旅費（51,110円） 空家等対策実務研修会等負担金（49,560円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	150,020円			
	財源合計[C](=[B])		150,020円			
人件費	一般職員		150人日	4,023,250円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]		4,023,250円			
総事業費[B]+[D]			4,173,270円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
相談会等の開催	空家問題の解決・啓発・相談のための相談会等の開催数(累計)	回	目標値		1.0	2.0	3.0	4.0
			実績値	0.0	1.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高齢単身者や相続人となる次世代等に対し、生前から空き家をどのように処分するかを含め、空家問題に関する理解を深めるような啓発・相談会等を開催し、新たな空家発生の抑制につなげる。また、事前（苦情発生前）から管理不全空き家の所有者調査をしておくことが、苦情等の迅速な解決につながる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	空家問題に関する啓発冊子を作成（職員が作成）するとともに、相談会等の開催については、「いーばしょ」なども活用しながら実施する（対面式となるので、相談会等の開催については、COVID-19の状況による）。また、空き家の除却に関する補助金要綱の内容を見直し、活用しやすくなるよう早期に検討し、実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	自然エネルギー推進事業			款項目	04-01-07	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	小俣昌寛
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	3	地球温暖化対策と自然エネルギーの普及
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 ・自立型再生可能エネルギー設備普及促進 ・市内に設置等する再生可能エネルギー発電設備の安心・安全な導入		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・自立型再生可能エネルギー設備設置費に対する補助金の交付 ・再生可能エネルギー発電設備を設置する際に、各種ガイドライン等の内容を遵守するよう指導及び助言		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自立型再生可能エネルギー設備の普及により脱炭素社会の実現につなげる。また、今後の再生可能エネルギーに求められている蓄電・蓄エネを促進し、災害や停電等非常時のエネルギーの確保につなげる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,400,000円			
	決算額[B]		609,000円			
	執行率[B]/[A]		17.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金（609,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	609,000円			
	財源合計[C](=[B])		609,000円			
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円				
		対象外事業分		円				
	嘱託職員		0人日	円				
		対象外事業分		円				
	臨時職員			円				
	別担当職員			円				
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			3,291,167円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助金申請件数	自立型再生可能エネルギー補助金申請件数（累計）	件	目標値		6.0	12.0	18.0	24.0
			実績値	0.0	7.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	住宅用の自然エネルギー機器及び省エネ機器の導入を目的とした旧補助金（住宅用自然エネルギー及び省エネルギー機器補助金）が平成30年度末に廃止となり、次に自家消費を推進する観点（停電時も電力の自給自足が可能）から、蓄電システムの導入を必須条件とする「自立型再生可能エネルギー設備普及補助金」を平成31年4月1日に施
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	平成21年度から始まった住宅用太陽光発電の余剰電力の買取期間（10年間）が、平成31年11月から順次満了を迎えているが、買取期間終了後の選択肢として、従来の単なる売電から「自家消費を促進する」ための補助金制度（H31.4施行）の周知を図り活用を促すことで、脱炭素社会の実現につなげる。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地下水保全事業			款項目	04-01-07	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	小俣昌寛
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	都留市地下水保全条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	1	いつまでも美しいまちづくり
	施策	3	里地・里山・里水の保全・活用
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	・市内の地下水位のモニタリングと採取の適正化のための量水器設置費の補助 ・市内に井戸を設置する際に、地下水保全条例等に基づき適切な指導等を行う		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	地下水資源の保護と採取の適正化を図り、良好で快適な生活環境を確保する		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		4,988,817円			
	決算額[B]		4,360,050円			
	執行率[B]/[A]		87.4%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		地下水位観測業務委託料（1,095,050円） 量水器設置費補助金（7件 3,265,000円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,360,050円			
	財源合計[C](=[B])		4,360,050円			
人件費	一般職員		80人日 2,145,733円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,145,733円			
総事業費[B]+[D]			6,505,783円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
量水器の設置割合	条例施行前に井戸を設置していた者の内、量水器を未設置の方（23件）が、量水器を設置する割合（累計）	%	目標値		30.0	60.0	80.0	100.0
			実績値	13.0	43.4			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地下水保全条例（H30.10.1施行）に基づき、施行以前からの井戸設置者は施行日から1年以内の届出が必要。その内、揚水機の吐出口の断面積が6㎠を超える場合は、取水量の報告義務が生ずる為、一定の条件を満たせば、量水器の設置に対する補助制度を整備（条例施行後3年以内の設置に限る）。一定の要件を満たしていない者に対して、量水器の設置を働き掛ける手法が困難。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、量水器の設置指導を含めた取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	火葬場事業			款項目	04-01-08	評価責任者	齊藤浩稔
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	小俣昌寛
会計	一般会計	事業開始年度	昭和３９年度	法定根拠・法令等	都留市火葬場条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	1	信頼できる職員の育成と充足したサービス提供
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留市火葬場「ゆうきゅうの丘　つる」の管理運営（管理・修繕・現場環境等の確認）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ・市民等の公衆衛生その他公共の福祉の向上 ・故人との最後の別れを安らかに迎えられる環境の整備		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		25,056,183円			
	決算額[Ｂ]		25,056,183円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		火葬場管理業務委託料（7,734,620円） 火葬場施設修繕費（9,801,780円） 火葬場施設消耗品購入費（1,137,631円）			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	9,415,000円			
		一般財源	15,641,183円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		25,056,183円			
人件費	一般職員		100人日 / 2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		2,682,167円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			27,738,350円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	火葬場使用者からの苦情件数	件	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0
			実績値	1.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	修繕計画による大規模修繕とともに、経年劣化による小規模な機械不良の修繕も発生している。火葬場内には、常に静寂と尊厳ある緊張感が漂い、それに見合うサービスの提供が求められることから、施設メンテナンスや修繕等を適切に行い環境の整備を図る。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	令和3年度 コスト 維持	令和3年度 コスト 増加	令和4年度 コスト 削減	令和4年度 コスト 維持	令和4年度 コスト 増加	令和5年度 コスト 削減	令和5年度 コスト 維持	令和5年度 コスト 増加	令和6年度 コスト 削減	令和6年度 コスト 維持	令和6年度 コスト 増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	火葬場の管理業務受託者との連携を図るとともに、火葬場施設の状況等の確認を行い、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しを含め、利用者に不快感を与えない施設の適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。設備修繕に関しては、保守点検状況を踏まえて計画的に行い、施設修繕に関しては、個別施設計画により検証し、計画を立て実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	社会福祉関係費			款項目	03-01-01	評価責任者	澄川　宏
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	地域福祉担当	記入者	庄司　一浩
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	1	★安心を提供する地域福祉の啓発と充実

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：社会福祉法人　都留市社会福祉協議会 対象物：事業費補助（ふれあいのまちづくり事業）
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 広報紙の発行　ボランティア団体への補助
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ボランティアの養成や広報活動により、地域における福祉の推進を図る。

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,810,000円			
	決算額[B]		2,611,366円			
	執行率[B]/[A]		92.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		ふれあい福祉センター事業費（広報活動）247,000円 地域生活支援事業1,355,000円 住民参加による地域福祉事業1,208,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,611,366円			
	財源合計[C](=[B])		2,611,366円			
人件費	一般職員		30人日　804,650円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		804,650円			
総事業費[B]+[D]			3,416,016円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ボランティア活動へ参加した市民の割合	社会福祉協議会で実施した事業に参加した人数/総人口（10/1現在）	%	目標値		187.0	190.0	193.0	
			実績値	185.6	185.1			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	事業については、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため継続的な支援は必要である。 財源については、市補助金・社協一般会費・共同募金配分金等で行っている。 令和元年度については、消費増税による補助額の増加を見込んでいる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。 市も事業について協力を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	障害者等地域生活支援事業			款項目	03-01-01	評価責任者	澄川　宏
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	障がい者支援担当	記入者	渡辺　真由美
会計	一般会計	事業開始年度	平成18年	法定根拠・法令等	障害者総合支援法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	3	障がい者の自立と社会参加の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：障がい者及び障がい児		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	相談支援・成年後見制度利用支援・意思疎通支援・日常生活用具給付・移動支援・地域活動支援センター・福祉ホーム・日中一時支援・社会参加促進事業等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		38,302,000円			
	決算額[Ｂ]		34,114,163円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		89.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		障害者相談員人件費 6,382,403円 委託料　22,670,273円 補助金　657,950円 扶助費　4,383,537円			
	財源内訳	国庫支出金	6,049,000円			
		県支出金	2,302,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		8,351,000円			
人件費	一般職員		150人日　4,023,250円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		100人日　902,000円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		4,925,250円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			39,039,413円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
地域生活支援事業サービス利用	各種サービス利用実人数	人	目標値		165.0	166.0	167.0	168.0
			実績値	164.0	167.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。また令和2年度末までに障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりのため、地域生活支援拠点の整備を行う必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の整備準備を推進し、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業			款項目	03-01-01	評価責任者	澄川　宏
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	障がい者支援担当	記入者	渡辺　真由美
会計	一般会計	事業開始年度	平成4年	法定根拠・法令等	都留市福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	3	障がい者の自立と社会参加の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	身体障害者手帳1・2級、療育手帳Ａに該当する者（自動車税の減免及び燃料費助成対象者を除く）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱に基づき、重度心身障害者等の社会参加を促進するため、タクシー券により初乗り運賃の額を助成する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	重度心身障害者（児）の行動範囲の拡大と社会参加促進、及び経済的負担の軽減を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		599,000円			
	決算額[Ｂ]		594,520円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.3%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		タクシー初乗運賃（扶助費） 594,520円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	28,615円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		28,615円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			1,935,603円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
タクシー券利用状況	タクシー券利用回数	回	目標値		876.0	877.0	878.0	879.0
			実績値	875.0	878.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。またタクシー会社のほか福祉タクシー等の利用も助成対象としている。福祉タクシー等の利用者が増えているため、市単独助成額が多くなっている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保健福祉センター管理運営事業（いきいきプラザ都留照明ＬＥＤ化事業）			款項目	03-01-04	評価責任者	澄川　宏
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	保健福祉センター担当	記入者	小林勝之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市民（利用者）全体 対象物：都留市保健福祉センター		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	保健福祉センターの施設管理・運営事業（いきいきプラザ都留照明ＬＥＤ化事業）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	コストを抑制しつつ、省エネ対策として電気照明のＬＥＤ化等、計画的に取り組み、電気量削減を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		2,147,000円			
	決算額[Ｂ]		2,052,000円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		95.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		保健福祉センター1階照明ＬＥＤ化修繕　2,052,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,052,000円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,052,000円			
人件費	一般職員		20人日　536,433円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		536,433円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,588,433円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
電気使用量の削減	施設整備計画を踏まえてＬＥＤの導入等、電気使用量の削減を図る。	Kw	目標値		6684220.00	6684219.00	6684218.00	6684217.00
			実績値	6684221.00	6729403.00			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	保健福祉センター1階部分の照明のＬＥＤ交換を実施したが、空調の不具合や施設利用日数の増加に伴い、結果的に電気使用量の削減には至らなかった。蛍光灯の製造終了に伴い、他の階についても順次ＬＥＤ化を進め、コスト削減に向けた節電対策強化を図り、徹底していく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	施設の老朽化に伴う大規模改修を見据える中で、長期的な整備計画（長寿命化計画）を立て、優先順位を決めて事業費予算の平準化を図り、施設整備を行っていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	介護人材確保対策事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野　奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	介護保険担当	記入者	小俣　覚
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	都留市介護人材確保支援事業補助金交付要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	介護保険サービス事業者、地域密着型サービス事業者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市内で介護サービス等に従事する人材の確保・定着および、介護人材の能力向上を目指すため介護サービス事業者等への財政的支援を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	新規介護人材の確保及び、介護サービスの質の維持・向上を目的とする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		500,000円			
	決算額[B]		円			
	執行率[B]/[A]		0.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		研修費補助 100,000円×0件 未経験者等雇用補助 100,000円×0件			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	円			
	財源合計[C](=[B])		円			
人件費	一般職員		1人日	26,822円				
		対象外事業分		円				
	嘱託職員		0人日	円				
		対象外事業分		円				
	臨時職員			円				
	別担当職員			円				
	人件費合計[D]		26,822円			
総事業費[B]+[D]			26,822円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
申請件数	当該年度中に研修費助成または、未経験者等雇用補助の補助金申請の実績値（小計）	件	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本事業を開始した平成29年度から申請実績が1件のみであったため、当年度は事業所職員が集まる連絡会等を中心に積極的な普及活動と、本事業に関するアンケートを実施したところ、令和2年度中の申請相談を１件受けており、またアンケート結果に基づく制度の変更も検討している。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	共生型サービス（介護保険と障がい福祉のサービスを一体的に提供するサービス）の普及や、高齢者福祉サービスの充実を図るため、障がい福祉サービス事業所及び、サービス付高齢者住宅事業者も補助事業の対象とするよう制度内容の拡大を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	寿賀祝事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	相川京子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市寿賀祝品支給条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	基準日（9月15日）に喜寿（77歳）になる者、当該年度内に100歳になる者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	喜寿対象者には5千円の商品券、100歳対象者には10万円の商品券、祝状と額を贈呈		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	高齢者の生きがいづくりを支援し、健康寿命の延伸を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,995,000円			
	決算額[B]		2,559,789円			
	執行率[B]/[A]		85.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・77歳寿賀(1,740,000円) ・100歳寿賀(800,000円) ・祝品消耗品(19,789円)			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,559,789円			
	財源合計[C](=[B])		2,559,789円			
人件費	一般職員		45人日 1,206,975円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,206,975円			
総事業費[B]+[D]			3,766,764円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
支給対象者数	健康寿命の延伸により65歳到達者のうち寿賀祝対象となる者を増加させる。	人	目標値		358.0	680.0	1057.0	1393.0
			実績値	345.0	358.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	77歳の喜寿祝は、本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、今後、寿賀祝対象年齢について見直しを検討する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	健康寿命の延伸により、寿賀祝の対象年齢についての妥当性が課題となっている。現在、対象となっている喜寿（77歳）祝については、単にお祝するだけではなく、健康寿命の延伸や生きがいづくりの支援に向けて活用できるよう具体的に検討する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	老人福祉活動事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	相川京子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市地区敬老会補助金交付要綱		
事業実施方法	その他			←その他の場合の詳細	補助金等支出事業		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	老人クラブ月待の湯利用料助成：60歳以上高齢者、ねんりんピック参加支援：65歳以上高齢者、敬老会補助対象：70歳以上の敬老会参加者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	老人クラブ活動月待ちの湯の利用料助成、ねんりんピックの参加支援（参加者へ昼食の提供、バス送迎）敬老会開催への補助		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	高齢者の閉じこもりを防止し、社会参加の機会を創出することにより、健康的でいきいきとした生活を送ることができるよう支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,644,000円			
	決算額[B]		2,092,960円			
	執行率[B]/[A]		79.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・老人クラブ月待ちの湯利用料負担(835,840円) ・いきいき山梨ねんりんピック事業(108,120円) ・自治会等への敬老会補助(1,149,000円)			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,092,960円			
	財源合計[C](=[B])		2,092,960円			
人件費	一般職員		30人日 804,650円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		804,650円			
総事業費[B]+[D]			2,897,610円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
敬老会開催数	敬老会を開催する自治会等の数（小計）	箇所	目標値		40.0	40.0	40.0	40.0
			実績値	39.0	35.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	敬老会への補助事業により、敬老会の継続開催につながっているが、自治会役員も毎年交代となり、自治会の担い手の高齢化や事務負担等の理由から継続実施が難しくなってきている状況もうかがえる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢者の閉じこもりを防止し、外出の機会を確保するため、身近な場所で集える「いーばしょ」づくりをさらに推進するとともに、敬老会や老人クラブ活動についても継続して支援していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域福祉支援事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	相川京子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	老人福祉法		
事業実施方法				←その他の場合の詳細	一部委託、補助金等支出事業		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	老人クラブ会員、介護保険サービス利用者で支援を要する者、在宅生活高齢者で支援を要する者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	各地域の老人クラブ活動の支援、在宅独居等で支援を要する高齢者に対し寝具丸洗い等の支援、介護保険サービス利用者で支援を要する者に対し個人負担金の一部助成を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	老人クラブ活動への支援により高齢者が元気でいきいきとした生活を送ることができるよう支援するとともに、介護保険サービス利用の充実を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		6,470,000円			
	決算額[B]		5,356,196円			
	執行率[B]/[A]		82.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・老人クラブ活動補助(2,414,657円) ・布団丸洗い事業(390,000円) ・介護保険サービス利用補助(669,279円)			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,028,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,328,196円			
	財源合計[C](=[B])		5,356,196円			
人件費	一般職員		25人日	670,542円					
	対象外事業分			円					
	嘱託職員		0人日	円					
	対象外事業分			円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		670,542円			
総事業費[B]+[D]			6,026,738円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
老人クラブ数	老人クラブ数（小計）	箇所	目標値		43.0	43.0	44.0	44.0
			実績値	42.0	42.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	老人クラブ会員の高齢化や新規加入者の減少により、活動の維持が困難となる恐れもある。新規会員を確保するための対策を検討する。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	老人クラブという名称に抵抗を感じている高齢者もいるため、参加しやすい名称への変更も検討しながら、継続して活動を行っていけるよう支援する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	一般介護予防事業費			款項目	04-02-01	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	相川京子
会計	介護特会	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	65歳以上の全高齢者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	「いーばしょ」事業や健康ポイント事業などを通じて、自主的に運動や介護予防に取り組む高齢者を増加させる。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	健康づくり・介護予防事業を通じて健康寿命を延伸させる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		10,543,899円			
	決算額[B]		7,267,410円			
	執行率[B]/[A]		68.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・「いーばしょ」づくり補助金　(3,424,480円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金　(1,323,537円) ・介護支援ボランティア業務委託(1,234,150円)			
	財源内訳	国庫支出金	1,816,853円			
		県支出金	908,427円			
		地方債				
		その他特定財源	2,870,626円			
		一般財源	1,671,504円			
	財源合計[C](=[B])		7,267,410円			
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円								
		対象外事業分		円								
	嘱託職員		0人日	円								
		対象外事業分		円								
	臨時職員			円								
	別担当職員			円								
	人件費合計[D]		1,341,083円									
総事業費[B]+[D]			8,608,493円									

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
「いーばしょ」の延べ参加人数	「いーばしょ」として開設している場所へ参加された延べ人数	人	目標値		5400.0	5600.0	5800.0	6000.0
			実績値	5392.0	6306.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市内23カ所の「いーばしょ」の継続支援をおこなっており、担当制で内容や代表者の相談にのることで、継続しての開催につながっている。新規開設への支援も行う中で、市内にある自主的な高齢者の集いの場も情報収集し、広く高齢者の参加ができるように周知活動を行っていくことで、高齢者の参加の機会を増やしてく。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	現在の「いーばしょ」を継続開催していけるようリーダー育成を行っていく。市内の自主的な高齢者の集いの場も情報収集し、広く高齢者の参加ができるように周知活動を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	任意事業費			款項目	04-03-03	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	相川京子
会計	介護特会	事業開始年度		法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	65歳以上の虚弱な高齢者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	給食サービスや緊急通報装置の貸与など、都留市の状況に応じて様々な自立支援等に資するサービスを提供する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		12,673,900円			
	決算額[B]		9,330,716円			
	執行率[B]/[A]		73.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・給食サービス事業業務委託(6,350,897円) ・ふれあいペンダント業務委託(2,579,146円) ・成年後見制度後見人謝金(216,000円)			
	財源内訳	国庫支出金	2,496,500円			
		県支出金	1,248,250円			
		地方債				
		その他特定財源	4,094,550円			
		一般財源	1,491,416円			
	財源合計[C](=[B])		9,330,716円			
人件費	一般職員		80人日 2,145,733円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,145,733円			
総事業費[B]+[D]			11,476,449円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
自立支援サービス利用者割合	75歳以上の後期高齢者で給食サービス・ふれあいペンダント・成年後見助成制度を利用している者の割合	%	目標値		2.33	2.32	2.31	2.30
			実績値	2.34	1.93			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	独居や高齢者のみの世帯が増加しており、本事業の利用を希望する高齢者の増加も見込まれるため、本事業のサービス対象者の見直しとともに、他のサービスでの対応や、ボランティア等による地域での見守り体制についても進めていく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢者が住み慣れた自宅で継続して生活できるよう、本人の状況に応じたサービスの内容や現状のサービス対象者の見直し検討を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	すこやか子育て医療費助成事業			款項目	03-02-01	評価責任者	志村　佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子育て支援担当	記入者	相川　薫
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	すこやか子育て医療費助成金支給条例等		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子ども		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	医療保険各法の規定に基づく療養の給付を受けたとき、当該療養に係る一部負担金等を山梨県内の医療機関等については窓口無料、県外の医療機関等は償還払により助成する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	こどもの疾病の早期発見・早期治療を促進するとともに、子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、子どもの健全な育成及び安心して子どもを産み育てる環境づくりを支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		123,261,000円			
	決算額[B]		116,009,192円			
	執行率[B]/[A]		94.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・窓口無料に係る現物給付 99,391,773円 ・償還払に係る現金給付 13,392,910円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	21,675,131円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	94,334,061円			
	財源合計[C](=[B])		116,009,192円			
人件費	一般職員		140人日　3,755,033円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		3,755,033円			
総事業費[B]+[D]			119,764,225円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事務負担の軽減	本事業に従事する職員の事務負担の軽減	人日	目標値		140.0	130.0	120.0	110.0
			実績値	190.0	140.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和元年11月より窓口無料の対象を15歳から18歳に延伸することにより、保護者の償還払申請等に係る負担軽減を図るとともに、職員の事務作業の削減を行った。また、医療機関の適正受診やジェネリック医薬品利用を促進を行い医療費の抑制策を講じた。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	窓口無料年齢の拡大により、本事業実施に費やす職員人件費の削減が可能となるが、受診が気軽にできる環境となることから、医療費増加を招かないよう適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用等を継続して周知する必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	子育て応援店事業費補助事業			款項目	03-02-01	評価責任者	志村　佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子育て支援担当	記入者	相川　薫
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市子育て応援店登録事業実施要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	子どもの遊び場や授乳スペース、おむつ替えができる設備などを有する市内店舗又はそれらを新たに設置しようとする店舗		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	店舗登録：申請し、確定された店舗に「子育て応援店」の啓発用物品を交付 補助金：設備の改修、若しくは備品の購入等に対し補助金を交付		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	子育て世代が利用しやすい店舗等を増やすとともに、市民に周知することで子育て環境を整備する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		300,000円			
	決算額[B]		円			
	執行率[B]/[A]		0.0%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・令和元年度は執行見込無			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		円			
人件費	一般職員		5人日	134,108円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		0人日	円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[D]		134,108円			
総事業費[B]+[D]			134,108円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
登録店舗数	「子育て応援店」登録店舗数	件	目標値		10.0	10.0		
			実績値	9.0	9.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	2			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	1			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	2			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	1.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	登録店舗について、子育て世代に対するサービス提供を行う店舗等を対象とすること等を検討したが、県が実施する「やまなし子育て応援カード」事業と内容が重複するため見合わせることとした。これまでどおりの事業内容であれば市民ニーズは無いと判断し、令和2年度の状況により事業を廃止する予定である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持												
	縮小												
	休止・廃止	○											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	母子健診・相談事業			款項目	04-01-03	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、やまなし子ども子育て条例等		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	妊産婦及びその家族、また、子育て中の保護者。乳幼児。		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	子育て世代包括支援センター事業、妊婦乳児一般健診、乳児全戸訪問、乳幼児健診、産後健診及び事後フォロー相談、新生児聴覚検査		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	妊娠中から出産後の母親の身体的心理的安定を図ることができ、安心して子育てに臨むことができる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		34,334,168円			
	決算額[B]		27,603,762円			
	執行率[B]/[A]		80.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		報酬 820,882円 賃金 1,278,750円 報償費 1,656,000円 委託料 18,943,076円 負担金、補助及び交付金 3,853,346円			
	財源内訳	国庫支出金	2,186,100円			
		県支出金	351,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	25,417,662円	円		
	財源合計[C](=[B])		27,954,762円			
人件費	一般職員		384人日 10,299,520円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		10,299,520円			
総事業費[B]+[D]			37,903,282円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合	4か月健診の問診票からゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合	%	目標値		91.8	92.0	93.0	95.0
			実績値	91.4	87.7			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	妊産婦健診や不妊治療への助成などにより、出産しやすい環境づくりを整備してきた。更に、令和元年度より産後ケアセンターの自己負担金を全額助成し、妊娠への周知を行ったところ、前年度実績18泊から今年度27泊（R2.1月）と利用が増え、出産後の母親の不安軽減につながった。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		妊婦健診費用の助成の拡充											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	子育てにおいては経済的な支援が必要であり、特に妊婦健康診査においては保険適用外であり自己負担金が生じているため経済的負担の軽減をはかる支援の拡充を検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	母子健康づくり事業			款項目	04-01-03	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、やまなし子ども子育て条例等		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	妊産婦、子育てをしている保護者、乳幼児及び学童		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	ﾏﾀﾆﾃｨｸﾗｽ、離乳食教室、子育て応援セミナー、赤ちゃん広場、すくすく教室等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	妊娠出産子育てに関する情報提供や各種体験・相談事業により、切れ目のない支援体制を構築する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,424,000円			
	決算額[B]		1,791,878円			
	執行率[B]/[A]		73.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		賃金 476,000円 報償費 702,000円 委託料 262,800円 負担金、補助及び交付金 231,100円			
	財源内訳	国庫支出金	150,000円			
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,641,878円	円		
	財源合計[C](=[B])		1,791,878円			
人件費	一般職員		110人日 2,950,383円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,950,383円			
総事業費[B]+[D]			4,742,261円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
子育てが楽しいと思う人の割合	4か月健診の問診票から子育てが楽しいと回答した人の割合。	%	目標値		90.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	89.3	98.7			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	マタニティクラスや離乳食教室等においては、開催時期や回数が限られておりまた、参加者が一部の方となっている。子育てについて気軽に相談できるよう体制整備が必要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	各種教室に参加していない方も多いため、子育てサークル（ベビタス・ママタス、にこ研等）や子育て支援センター、愛育会や主任児童委員の地域組織との連携を図り、保護者が気軽に相談できる体制を整備していく必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康教育・相談事業			款項目	04-01-04	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	各地域、各組織等に対し、生活習慣病等および心の健康教育・相談を実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	生活習慣病の予防・心身の健康増進のために、市民一人一人が生活習慣の改善が図れるよう健康教育を通して支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		9,984,162円			
	決算額[B]		8,206,287円			
	執行率[B]/[A]		82.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		委託料　4,115,864円 需用費　1,581,296円 賃金報償費　1,863,915円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	710,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,496,287円			
	財源合計[C](=[B])		8,206,287円			
人件費	一般職員		172人日　4,613,327円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		4,613,327円			
総事業費[B]+[D]			12,819,614円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康教育相談回数	各種健康教育・相談の回数（年間）の増加	回	目標値		45.0	47.0	50.0	52.0
			実績値	44.0	47.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	健康づくり事業（委託事業）2年目で、1年目の参加者の成果が見られてきている。いきいき動かし隊においては、卒業生が市民への生活習慣改善普及員の役割を担えるような啓発に取り組んでいく必要がある。健康ポイント事業においては、利用率、ポイント還元率も低い。インセンティブ事業の工夫が必要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持	○											
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		健康ポイント事業											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	健康ポイント事業においては、令和２年度、ポイント対象項目の工夫やポイント制限の改善、また、市民への周知の強化等、取り組みを見直しながら、実績を上げていきたい。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康診査事業			款項目	04-01-04	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	健康増進法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	20歳以上39歳以下の方で会社等において健康診断を受ける機会のない人		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	基本健康診査		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	法定健診の対象外である39歳以下の人に対して、個人の健康意識の向上と健康の保持増進を図るきっかけの一つとして健康診査を実施する機会を提供する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		8,923,060円			
	決算額[Ｂ]		7,540,112円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		84.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		委託料　7,419,830円 負担金　90,900円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	271,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,269,112円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		7,540,112円			
人件費	一般職員		131人日	3,513,638円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[Ｄ]		3,513,638円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			11,053,750円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
39歳以下の受診者割合	法定健診の対象外である20歳以上39歳以下の受診者が増加する。	%	目標値		6.5	7.5	7.8	8.0
			実績値	5.9	7.2			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	国保加入者数の状況を見ると、３９歳以下の受診率は５．９％となっている。２０歳代からの糖尿病予備軍対象者もいることから、若年層からの健診意識の向上を図る必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	対象者の特性に応じて、企業や関係機関と連携する中で、周知方法等工夫する中で、受診行動の向上を図り受診者数を増加させる。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	がん検診事業			款項目	04-01-04	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度	H10年 老人保健法から一般財源化	法定根拠・法令等	健康増進法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	20歳以上の一般市民（ただし、前立腺がん：50歳以上の男性・乳がんは30歳以上の女性・子宮は20歳以上の女性）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	胃がん、肺がん、大腸がん検診、肝がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診については、特定健診と同日にバス検診として実施　子宮がん、乳がん検診については、医療機関において実施。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	がん検診を受診することにより、早期発見・早期治療にむすびつけ、がんによる死亡率を低下させる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		34,811,778円			
	決算額[B]		32,904,894円			
	執行率[B]/[A]		94.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		委託料　32,468,057円 役務費　293,354円			
	財源内訳	国庫支出金	276,000円			
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	32,628,894円			
	財源合計[C](=[B])		32,904,894円			
人件費	一般職員		90人日　2,413,950円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,413,950円			
総事業費[B]+[D]			35,318,844円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
各種がん検診受診率の平均	胃、肺、肝がん、大腸がん、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診の受診率	%	目標値		15.0	18.0	20.0	23.0
			実績値	14.6	14.4			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	国への報告の算定方法の変更（分母を人口とする）により受診率は下がっている。がん検診の受診率向上のため、周知を工夫していく必要がある。また、精密検査の受診率を増加させることを強化していく必要がある。 国のがん検診指針に基づいた、受診者の管理および市民への周知が徹底していく。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	受診率向上に向け、周知方法を工夫する。また精密検査となった者への受診勧奨を検査機関と連携を図りながら、個人的な支援を入れながら徹底していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保健衛生業務経費			款項目	04-01-01	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民及び保健師等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	保健衛生業務に要する経費、保健師の資質の向上のための経費、健康科学大学入学奨励のための経費		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	保健業務の質の向上。健康科学大学入学生の増加		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		31,164,000円			
	決算額[B]		28,245,555円			
	執行率[B]/[A]		90.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		負担金　22,335,640円 委託料　4,301,000円 補助金　1,200,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	1,495,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	26,750,555円			
	財源合計[C](=[B])		28,245,555円			
人件費	一般職員		285人日　7,644,175円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		7,644,175円			
総事業費[B]+[D]			35,889,730円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康科学大学看護学部入学奨励補助金利用者数	健科大入学者の負担を軽減し、看護師養成者数を増やし、市内医療機関の看護職員の増加を促す。	人	目標値		12.0	12.0	12.0	12.0
			実績値	11.0	4.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	休日夜間急患診療体制については夜間の診療がなくなったが、2次医療機関の輪番制の体制が整備されている。健康科学大入学奨励補助金に対象者については、学校と連携をとることで入学者の把握が出来ている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	県の看護担当及び健康科学大学と連携を図りながら、助成制度の周知を強化し、入学希望者を募る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	予防接種事業			款項目	04-01-02	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	予防接種法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	定期予防接種対象者。大人の風しんワクチン対象者。インフルエンザ助成対象者。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	予防接種法に基づく定期予防接種の実施。任意接種として、ロタウイルスワクチン、小児インフルエンザ、大人の風しんの予防接種費用の助成。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	予防接種を実施することで、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		76,433,939円			
	決算額[B]		67,253,099円			
	執行率[B]/[A]		88.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		賃金 557,420円 委託料 60,858,063円 負担金・補助金 4,804,169円			
	財源内訳	国庫支出金	2,490,000円			
		県支出金	130,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	64,763,099円	円		
	財源合計[C](=[B])		67,383,099円			
人件費	一般職員		50人日 1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,341,083円			
総事業費[B]+[D]			68,594,182円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
接種率	定期予防接種の接種者割合 ・接種期間の最終年齢より1歳上の年齢での接種率を算出	%	目標値		95.0	95.0	95.0	100.0
			実績値	91.2	91.3			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	小学校6年生で実施する2種混合（ジフテリア・破傷風）については、接種率が84.9%であり、他の予防接種率90%代と比較して低い現状である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	予防接種の受診率の向上を図るため未接種者通知等よる接種勧奨を積極的に行い、特に接種率の低い二種混合（小学校６年生）においては、中学校との連携を図り中学校入学式説明会において保護者へ接種勧奨をすることにより受診率の向上を目指す。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	感染症予防事業			款項目	04-01-02	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康推進室	記入者	分部照美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民一般及び各関係機関		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	感染症予防の普及啓発。新型インフルエンザ等対策の一環として、感染症予防医薬材料の備蓄。（新型インフルエンザ等行動計画に基づいて行動）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	感染症のまん延を予防する。有事の際、実施体制がとれる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		522,541円			
	決算額[B]		522,541円			
	執行率[B]/[A]		100.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		需用費 522,541円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	522,541円			
	財源合計[C](=[B])		522,541円			
人件費	一般職員	5人日	134,108円			
	対象外事業分		円			
	嘱託職員	0人日	円			
	対象外事業分		円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		134,108円			
総事業費[B]+[D]			656,649円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
感染症予防ガイドライン策定数	保育園等や放課後児童クラブや高齢者施設において感染症予防対策を策定した数（累計）	箇所	目標値		13.0	35.0	40.0	46.0
			実績値	1.0	1.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	これまではっきりとした備蓄計画を策定していなかったため、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、マスクやアルコール消毒の備蓄が十分ではなく対応に苦慮した。 今後は、各部署および各施設における感染症予防体制整備を図っていく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		備蓄の必要な量の把握を行い、不足分の整備。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	有事の際に備え、庁内および関係機関との連携がスムーズ図れるよう体制整備の強化に努める。 また、備蓄用品についての必要量の見直しを行い、補充に努め感染症予防の徹底を図る必要がある。 市民や各課においての備蓄の必要性について周知していく必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保育所管理費			款項目	03-02-03	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	宝保育所	記入者	谷内ゆかり
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	都留市宝保育所条例・都留市宝保育所管理規則		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	2	保育サービスの充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	未就学児童、保護者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	保育に欠ける未就学児に、健全な保育環境と適切な保育を提供するための、施設の管理と運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	入所児が施設を安全に利用できるように、適切な施設・設備の管理を行い、健全な保育事業が行えるよう環境を整備する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		11,710,319円			
	決算額[B]		9,876,698円			
	執行率[B]/[A]		84.3%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		嘱託医報酬　240,000円 臨時保育士等賃金 2,897,757円 暖房機更新ほか修繕 3,019,742円 土地賃貸借料1,175,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	128,000円			
		地方債				
		その他特定財源	888,461円			
		一般財源	8,860,237円			
	財源合計[C](=[B])		9,876,698円			
人件費	一般職員		180人日　4,827,900円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		100人日　902,000円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		5,729,900円			
総事業費[B]+[D]			15,606,598円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
保護者の評価	保育所評価アンケート結果（A評価の割合）	%	目標値		96.5	96.7	96.7	96.7
			実績値	96.5	96.3			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	園舎建設から26年が経過し、施設、設備の老朽化が進んでいる。土地の賃貸借契約期限が迫っているので、今後の方向性について早急に結論を導き出し、保護者や関係者に説明し、周知したい。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	入所児が施設を安全快適に利用できる環境整備に努める。職員定数の基準を維持できるように努める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保育所事業費			款項目	03-02-03	評価責任者	志村佳子
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	宝保育所	記入者	谷内ゆかり
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	都留市宝保育所条例・都留市宝保育所管理規則		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	2	保育サービスの充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	未就学児童、保護者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	入所児童の保育に必要な教材の購入、安心・安全な給食の提供及び食育促進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	入所児童の健全な育成　安心・安全な給食の提供や食育の取り組みにより、肥満や痩せている園児の減少を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		4,667,000円			
	決算額[B]		4,001,485円			
	執行率[B]/[A]		85.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		保育用教材等　256,573円 調理用光熱水費860,843円 給食食材費　2,635,817円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	91,000円			
		地方債				
		その他特定財源	1,306,475円			
		一般財源	2,604,010円			
	財源合計[C](=[B])		4,001,485円			
人件費	一般職員		20人日	536,433円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		1500人日	13,530,000円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[D]		14,066,433円			
総事業費[B]+[D]			18,067,918円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
園児の標準的発育度の割合	カウプ指数（乳幼児の発育程度の指数）が正常値の園児の割合	%	目標値		85.5	86.0	86.0	86.0
			実績値	85.3	84.6			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	10月から副食費を実費徴収することになり、改めて給食の内容を見直す機会とし、食材の選択を検討し、より良い栄養価の高い安全な給食の提供ができるように努めた。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	燃料費、光熱水費は、前年度の実績と当年度の執行状況を踏まえ、適切な使用に努める。児童の健全な育成に資するよう、アレルギー対応などの適切な食材選択に努め、給食を提供するとともに、好き嫌いをなくすよう食育についても指導することにより、標準的発育度の園児が増えるよう取り組んでいく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	金融対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内小規模企業者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	利子補給等を実施することにより、市内小規模事業者の設備投資の活性化を促す。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	設備資金等を促進し、地域経済活動の安定に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		10,200,000円			
	決算額[B]		8,171,872円			
	執行率[B]/[A]		80.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		小規模商工業者事業資金利子補給　8,098,872円 都留市創業者支援利子補給金　73,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,171,872円			
	財源合計[C](=[B])		8,171,872円			
人件費	一般職員		30人日	804,650円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		804,650円			
総事業費[B]+[D]			8,976,522円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利子補給金額	H30年度を基準とした小規模商工業者事業資金利子補給事業の累計補給額	千円	目標値		17000.0	24500.0	31500.0	38500.0
			実績値	9512.4	17611.3			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度は小規模商工業者事業資金利子補給金の要綱改正を行い、設備投資を含む融資のみを対象とすることとした。設備投資は将来的な経済活動に資する資金であり、設備投資が継続的に行われていることは地域経済活動が安定していると判断できる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HPでの制度紹介のほか、商工会、金融機関等の関連団体と協力し制度周知をすすめ、市内小規模事業者が設備投資を行う場合の制度利用促進を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	商工業振興対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	商工会及び商工業者の組合または団体		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	地場産業等の事業者の展示会参加等を助成する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内中小事業者の販路拡大などを促し地場産業の発展を推進する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		9,969,000円			
	決算額[B]		8,543,735円			
	執行率[B]/[A]		85.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		豊かな産業のあるまちづくり補助金　3,095,307円 ポイントシステム事業補助金　4,950,867円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,543,735円			
	財源合計[C](=[B])		8,543,735円			
人件費	一般職員		10人日　268,217円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		268,217円			
総事業費[B]+[D]			8,811,952円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内事業所数	市内に事業所を設置している法人数	事業所	目標値		834.0	836.0	838.0	840.0
			実績値	832.0	837.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	創業支援事業、空き店舗・空き工場活用促進事業など、新規の企業を促す制度の活用頻度が少ない。商工会と協力し、制度の周知を進めていく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HPでの制度周知と併せて、商工会と連携し、支援制度の周知を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	産業振興対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	企業		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	異業種交流による新しい試み、発展の可能性を検討し、企業誘致を積極的に推し進める。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	企業の経営の近代化、安定化のための振興策を進め、地場産業の総合的な振興を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,537,000円			
	決算額[B]		328,727円			
	執行率[B]/[A]		13.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		工場誘致・地場企業総合振興事業補助金　225,000円 産業アドバイザー報償　36,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	328,727円			
	財源合計[C](=[B])		328,727円			
人件費	一般職員		200人日	5,364,333円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]		5,364,333円			
総事業費[B]+[D]			5,693,060円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
シルバー産業等製品開発支援事業補助金累計件数	シルバー産業等製品の開発研究、試作品開発、販売促進のため補助金を活用した累計件数	件	目標値		0.0	3.0	4.0	5.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	1			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	1			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）				
平均得点	2.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	シルバー産業等製品開発支援事業補助金要綱を制定し、市内のものづくり事業者が行う新製品・新技術開発及び市場参入の支援制度が構築された。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の制度周知を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	労働対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 学生・就労者
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 就労機会を確保するため、学生や就労者に対する支援策を講じる。
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内労働力の確保と労働環境の改善に資する。

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		5,365,000円			
	決算額[Ｂ]		4,447,250円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		82.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		シルバー人材センター負担金　4,283,000円 高校生等就職支援資格取得費補助金　144,250円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,447,250円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,447,250円			
人件費	一般職員		5人日　134,108円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		134,108円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			4,581,358円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
高校生等就職支援資格取得費補助金累計件数	H30年度を基準とした高校生等就職支援資格取得費補助金利用累計件数	件	目標値		70.0	105.0	140.0	175.0
			実績値	35.0	85.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高校生等就職支援資格取得費補助金については、都留興譲館高校の生徒を中心に、毎年度30件程度の制度活用があり、資格取得に関し効果を発揮している。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に創設する奨学金返還支援補助金の制度周知を徹底し、市内の若手就労人口の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	観光宣伝事業			款項目	06-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	観光PR事業の推進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	都留市の観光資源等の知名度上昇		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		8,293,488円			
	決算額[B]		7,267,142円			
	執行率[B]/[A]		87.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		観光協会運営事業補助金 4,500,000円 高尾山・リニア地区負担金 1,655,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,267,142円			
	財源合計[C](=[B])		7,267,142円			
人件費	一般職員		100人日 2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			9,949,309円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	各年度の観光入込客数	千人	目標値		1460.2	1510.2	1560.2	1608.6
			実績値	1400.2	1536.6			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	道の駅つる、名勝田原の滝公園などの観光客が増加している施設はあるが、それらの施設を拠点として市内の他の観光施設への観光客誘導につながっていない。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	周遊コースの整備と観光案内事業の強化により、市内観光施設への周遊客を増加させ、市内滞在時間の延長を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	自然観光管理事業			款項目	06-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	自然観光施設		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	自然観光施設を維持管理することにより良好な状況を保つ。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	自然観光資源への観光客増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		5,407,000円			
	決算額[Ｂ]		4,939,650円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		案内板設置業務委託 2,629,000円 10登山道整備業務委託 600,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,939,650円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,939,650円			
人件費	一般職員		80人日 2,145,733円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		2,145,733円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			7,085,383円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
都留アルプス登山者数	フリーハイキングイベントの平均参加者数(小計)	人	目標値		120.0	125.0	130.0	135.0
			実績値	99.0	153.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	登山道の維持管理については地元自治会を中心に委託してきたが、自治会役員の高齢化により委託が厳しい状況が発生している。山岳愛好者を中心に、委託先の掘り起こしをしていく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	日本トレッキング協会に加入し、トレッキング愛好家への市内各登山コースの周知を進める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公園管理事業			款項目	06-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	2	計画的な土地利用
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	公園		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市内公園の維持管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	安全・安心な公園の利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		728,000円			
	決算額[B]		415,312円			
	執行率[B]/[A]		57.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		仲町公園清掃管理業務委託 120,000円 城山公園清掃管理業務委託 120,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	415,312円			
	財源合計[C](=[B])		415,312円			
人件費	一般職員		10人日	268,217円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]		268,217円			
総事業費[B]+[D]			683,529円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
巡回回数	仲町・城山公園の累計巡回回数	回	目標値		208.0	312.0	416.0	520.0
			実績値	104.0	208.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	城山城跡を訪れる人が増加しているが、市内のその他の施設等に誘導するコース設定が整備されていないため、滞在時間の延長に結び付いていない。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	森林経営管理制度推進において進めている城山の歴史的価値を保全し以前の姿を再生するための事業と並行して、つる観光戦略推進班において、城があった時代を想像させる等の仕組みづくりにより、ミュージアム都留や屋台展示庫、寺町通りへとつながるモデルコースの整備をすすめ、市外からの来訪者増加を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと芸能事業			款項目	06-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民・来訪者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	歴史文化的資源等の保存を支援する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	歴史文化的資源・郷土に伝わる芸能を伝承し、観光資源として来訪者増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		6,544,000円			
	決算額[B]		6,473,107円			
	執行率[B]/[A]		98.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		ふるさと芸能継承事業補助金 5,183,753円 交通信号機移設改良修繕 748,440円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	6,473,107円			
	財源合計[C](=[B])		6,473,107円			
人件費	一般職員		250人日	6,705,417円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		6,705,417円			
総事業費[B]+[D]			13,178,524円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
累計観客数	ふるさと時代祭りの累計観客数	人	目標値		48000.0	74000.0	101000.0	129000.0
			実績値	23000.0	53000.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在市がふるさと時代祭り実行委員会事務局を担っているが、市民が主体的に取り組むための組織構築を目指す必要がある。出演者確保のための募集方法の改善や、打上花火の協賛金・広告料等の収入の確保等、自走できる体制の構築に課題がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	他の地域にはない本市の伝統あるイベントとして「シビックプライド」の醸成を図り、歴史を継承していくとともに、観光客を意識したイベントとして、関係団体の協力のもとPR方法やイベント内容の更なる充実を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	富士の麓の小さな城下町振興事業			款項目	06-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	つる観光戦略に基づく観光事業推進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	観光入込客数の増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		10,150,000円			
	決算額[B]		8,194,428円			
	執行率[B]/[A]		80.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		観光振興事業業務委託 7,200,000円 都留ハイキングBOOK作成業務委託　842,400円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,194,428円			
	財源合計[C](=[B])		8,194,428円			
人件費	一般職員		100人日 2,682,167円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			10,876,595円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	各年度の観光入込客数	千人	目標値		1460.2	1510.2	1560.2	1608.6
			実績値	1400.2	1536.6			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	つる観光戦略の策定により、令和4年度までのつる観光の方向性が示されたため、戦略の達成に向けた事業を実施していく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	つる観光戦略を推進するため、観光振興公社と連携し、都留市の観光産業へ携わる事業者やボランティアの育成を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	宝の山ふれあいの里管理運営事業			款項目	06-01-04	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：利用者 対象物：宝の山いきものふれあいの里		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が所有する施設の適正な管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光施設としての利用者の安全を守り利用者数の増加を図る		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		5,031,090円			
	決算額[B]		4,882,332円			
	執行率[B]/[A]		97.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		指定管理者委託料 2,422,222円 ネイチャーセンター草刈手数料　616,892円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,882,332円			
	財源合計[C](=[B])		4,882,332円			
人件費	一般職員		200人日	5,364,333円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		0人日	円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[D]		5,364,333円			
総事業費[B]+[D]			10,246,665円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設累計利用件数	平成30年度を基準値とした施設の累計利用件数	人	目標値		537.0	787.0	1037.0	1287.0
			実績値	287.0	484.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	4			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	施設の老朽化に伴い、緊急修繕の箇所が増加している。維持管理を計画的に行うため、修繕計画を作成する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に行う指定管理者の選定において、施設の稼働率を上げるための事業計画の提案など、審査項目を精査する。また、レーザーカッターの活用により、新たな体験プログラムの開発と、木材を利用した看板整備を進める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	戸沢の森和みの里管理運営事業			款項目	06-01-04	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：利用者 対象物：戸沢の森和みの里
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が所有する施設の適正な管理
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光施設としての利用者の安全を守り利用者数の増加を図る

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		10,965,982円			
	決算額[B]		10,536,447円			
	執行率[B]/[A]		96.1%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		指定管理者委託料 5,046,296円 ローラー滑り台　885,600円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	10,536,447円			
	財源合計[C](=[B])		10,536,447円			
人件費	一般職員		30人日	804,650円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]		804,650円			
総事業費[B]+[D]			11,341,097円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設累計利用客数	平成30年度を基準値とした施設の累計利用客数	人	目標値		145662.0	215662.0	285662.0	355662.0
			実績値	75662.0	149572.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	施設の老朽化に伴い、緊急修繕の箇所が増加している。維持管理を計画的に行うため、修繕計画を作成する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に行う指定管理者の選定において、施設の稼働率を上げるための事業計画の提案など、審査項目を精査する。また、施設老朽化の対応だけでなく、指定管理者との協議により魅力ある温泉施設として観光客の滞在時間を延ばすための必要な改修を進めていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	十日市場・夏狩湧水群管理運営事業			款項目	06-01-04	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	廣瀬　敬太郎
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	十日市場・夏狩湧水群を中心とした観光資源の維持管理と活用		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	湧水群の維持管理を行いつつ、観光周遊コースとして整備し観光客の増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		1,010,440円			
	決算額[B]		817,679円			
	執行率[B]/[A]		80.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円 太郎・次郎滝駐車場看板設置業務委託 86,900円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	817,679円			
	財源合計[C](=[B])		817,679円			
人件費	一般職員		30人日	804,650円				
		対象外事業分		円				
	嘱託職員		0人日	円				
		対象外事業分		円				
	臨時職員			円				
	別担当職員			円				
	人件費合計[D]		804,650円			
総事業費[B]+[D]			1,622,329円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
名勝田原の滝来客者数	ツアーバスによる名勝田原の滝来客者数	台	目標値		15000.0	16000.0	17000.0	18000.0
			実績値	12632.0	21994.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	十日市場・夏狩湧水群や田原の滝公園への来訪者は増加しているが、地元の収入増加につなげられていない。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	田原の滝ライトアップイベントの出店を市民主導で行ってもらうなど、十日市場・夏狩湧水群一帯の観光振興が地元産業の活性化と収入増をにつながる体制を構築する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	農業振興事業			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：農家、就農希望者、農業法人 対象物：農業全般
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農家への各種補助事業等による支援、新規就農者等の掘り起こし、農地の貸借の支援による農地集積及び遊休農地対策。
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農業が産業・仕事として確立され、農家の所得向上や農地の有効利用が図られること。

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		28,305,452円			
	決算額[B]		21,777,184円			
	執行率[B]/[A]		76.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		機構借受農地整備事業　1,438千円 青年就農給付金 1,500千円 やまなし農業支援事業　8,170千円 活力ある水田農業支援事業費補助金　1,797千円 地産地消補助金 1,118千円 6次産業化　825千円 多面的機能支払　4,545千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	17,197,328円			
		地方債				
		その他特定財源	210,000円			
		一般財源	4,369,856円			
	財源合計[C](=[B])		21,777,184円			
人件費	一般職員		170人日　4,559,683円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		4,559,683円			
総事業費[B]+[D]			26,336,867円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
担い手への農地集積面積	認定農業者、新規就農者、道の駅への出荷者等地域の中心となる担い手への農地集積面積	ha	目標値		78.0	80.0	82.0	84.0
			実績値	76.0	78.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	新規の担い手が増加し、農地の権利移動も活発化してきており、農業振興施策の効果が見え始めている。一方で、高齢化によるリタイア等によって担い手が減少することもあるため、新規就農者の確保や法人の農業参入など新たな担い手の確保が必要。また、道の駅においても、未だ品目数・生産量が十分ではないため、引き続き支援を行う必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	以前に比べて市民の農業に対する関心も高まってきているので、引き続き、担い手の確保、農地集積や、販路拡大等による高収益化・効率化による農業所得の向上を図るために農業振興施策を推進していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	道の駅つる管理運営事業			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成26年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：農林産物等の生産者 対象物：農林産物直売所		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農林業従事者が市内の商工業者等が生産した、農林産物・加工品の販売拠点となる農林産物直売所を建設しその後の運営を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農林業従事者及び市内の商工業者の所得向上を目指す。また、来場者に本市の魅力を発信する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		10,453,000円			
	決算額[Ｂ]		10,006,598円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		95.7%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		道の駅つる指定管理料 8,498千			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	306,620円			
		一般財源	9,763,933円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		10,070,553円			
人件費	一般職員		70人日　1,877,517円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,877,517円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			11,884,115円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
来場者数	農林産物直売所及びレストランの来場者数	万人	目標値		73.3	76.7	80.0	82.0
			実績値	70.0	70.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	昨年度から売上・来場者ともに増加していたが、今年度は、台風による中央道の通行止め、リニアモーターカーの試験走行の休止、コロナウィルスの影響等マイナス要因が重なり、来場者、売上高が伸び悩んだ。今後は市外の観光客だけでなく、より多くの地域住民が来場するような仕組みが必要。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	生産者と商品の確保を進めるため、従来の補助事業や講習会の内容の拡充により生産者の支援を進める必要がある。また、リタイアした高齢者や移住者も積極的に新規就農できるよう支援を行う。また、品質の向上や、収益性の高い作物の生産振興、イベントの拡充等の取り組みが必要。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中山間地域総合整備事業			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：計画区域内の受益者 対象物：農業生産基盤（農道・水路・ほ場等）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 県営土地改良事業により市内農業生産基盤及び農村環境の整備を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 既存農家や将来の農業の担い手が効率的に利用できる農業生産基盤の整備。また条件不利な農村住民等のくらしやすい生活環境の整備。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		108,439,282円			
	決算額[Ｂ]		48,789,645円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		45.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		県営土地改良事業負担金 現年：4,700千円 Ｈ30事故繰越：5,100千円 Ｈ30明許繰越：32,700千円 付帯事業委託費 5,912千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	48,789,645円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		48,789,645円			
人件費	一般職員		180人日　4,827,900円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		4,827,900円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			53,617,545円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施工済み事業費	県が施工を完了した事業費	百万円	目標値		465.3	632.0	800.0	1000.0
			実績値	298.0	583.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	昨年度に引き続き、事業を行ってるが、事業費が年々増加してきているため、他の業務と並行して事業の執行管理を行うことが困難になりつつある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	農産物振興事業			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成26年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：農家等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	農林産物直売所に出荷する農林産物の生産技術・販路開拓の手法や、加工品の等の出荷に必要や技術を取得するための講習会などの実施。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	独自のブランド農産物や加工品の開発		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]			1,376,250円			
	決算額[Ｂ]			648,718円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]			47.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			富士湧水野菜生産振興補助金 648千円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		648,718円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])			648,718円			
人件費	一般職員		20人日	536,433円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[Ｄ]			536,433円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]				1,185,151円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
農林産物直売所生産者組合員数	市内に住所を有する生産者組合員数の累計	人	目標値		136.0	143.0	150.0	160.0
			実績値	129.0	137.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	水掛菜等の富士湧水を活用した野菜は本市の特産品であるが、高齢化等により生産量が減少しているため、新規の担い手の確保等により生産を振興していく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	富士湧水野菜については、市の特産品として道の駅つるでも人気商品となっているため、引き続き振興を図っていく必要があり、富士湧水が活用できるエリアの遊休農地等について、希望者にあっせんする等に加えて、生産者の技術向上に資する取組も進めていく必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	有害鳥獣対策事業			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：有害鳥獣による被害を受けている住民及び狩猟者 対象物：有害鳥獣
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 有害鳥獣の捕獲や追い払い等による被害の軽減及び対策の担い手となる狩猟者と地域住民への啓発
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 有害鳥獣による被害の軽減

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		14,477,000円			
	決算額[B]		12,654,779円			
	執行率[B]/[A]		87.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		有害鳥獣対策実施隊員などへの報酬　7,877千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金　3,901千円 防止柵設置・免許取得のための補助金　449千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	6,056,500円			
		地方債				
		その他特定財源	42,600円			
		一般財源	6,555,679円			
	財源合計[C](=[B])		12,654,779円			
人件費	一般職員		150人日　4,023,250円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		4,023,250円			
総事業費[B]+[D]			16,678,029円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
捕獲頭数	ニホンザル・ニホンジカ・イノシシの捕獲頭数の累計	頭	目標値		1058.0	1300.0	1400.0	1500.0
			実績値	837.0	1266.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	有害鳥獣による被害は年々増加傾向にあり、捕獲頭数も増加し続けているが、実施隊員数は横ばいであるため、個々の隊員の負担増加が顕著になってきた。農地内での食害や生活被害等も報告されており、特にシカによる被害が増加傾向にある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	有害鳥獣の捕獲数は大幅に増加しているものの、被害は減少していない。前年に引き続き捕獲を進めるとともに、大型捕獲檻による多頭捕獲や鳥獣害防護柵の更なる推進等といった捕獲以外の方法もさらに充実させる必要がある。また、実施隊員の確保及び負担軽減に資するためのシステム整備等も検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：地域おこし協力隊員		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	地域おこし協力隊員の活動を支援。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	都市から移住した人材を活用し地域の維持・強化を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		21,000,000円			
	決算額[B]		13,813,091円			
	執行率[B]/[A]		65.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		隊員への報酬 7,470千円 家賃補助等 2,097千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	13,813,091円			
	財源合計[C](=[B])		13,813,091円			
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]			1,341,083円					
総事業費[B]+[D]				15,154,174円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住又は起業数	隊員が任期終了後、定住や起業した数を目標値とする。任期中の起業も含め、それぞれ1カウントとする。	人	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0
			実績値	0.0	1.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	活動のテーマを具体的に絞って募集した隊員の方が目的意識が高いので、新たな分野においても、本制度を活用して都留市の地域活性化に向けた取組みを進めたい。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	隊員の定住に向けた取組みに対し、積極的な支援を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	高収益作物導入事業			款項目	05-01-03	評価責任者	小宮　文彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：農家等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市が試験圃場を開設して、果樹などの高収益作物の栽培実証を行い、その成果を農家に普及する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	高収益な作物の導入により、農家の所得向上を図るとともに、道の駅における品ぞろえを充実させる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,728,000円			
	決算額[B]		2,077,431円			
	執行率[B]/[A]		55.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		苗木及び資材費 725千円 備品購入費 450千円 農家向け助成金 270千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,077,431円			
	財源合計[C](=[B])		2,077,431円			
人件費	一般職員		70人日 1,877,517円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,877,517円			
総事業費[B]+[D]			3,954,948円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
果樹農家数	本事業による普及活動により果樹の栽培に取り組む農家を増やす。	件	目標値		2.0	4.0	6.0	8.0
			実績値	0.0	4.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	試験ほ場での果樹の生育は順調で、小粒ながら着果が見られ、来年には出荷が見込める状況である。また、高標高地及び中山間地域での果樹栽培については、あまり事例が無く、果樹栽培に適した土づくりや病虫害対策等の課題があるため、効果検証が必要となる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	果樹等の高収益作物の栽培を市内各地へ波及させ、ブランド化や新たな担い手の確保を図る中で、儲かる農業の仕組みを構築し、「つるの葡萄林」及び「つるの桃林」が市内各地で見られるよう基盤整備についても検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	市単道路橋梁維持補修事業			款項目	07-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	道路法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民（道路利用者） 対象物：市道、都留市公共物（赤線）及び橋梁		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市道、都留市公共物（赤線）及び橋梁の維持管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民等の安全で快適な道路及び橋梁の確保		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		54,486,000円			
	決算額[B]		51,699,449円			
	執行率[B]/[A]		94.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		市内道路・河川管理業務委託 15,143,700円 道路修繕費 17,825,417円 道路原材料費 5,070,395円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	115,718,189円			
	財源合計[C](=[B])		115,718,189円			
人件費	一般職員		230人日　6,168,983円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		190人日　1,713,800円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		7,882,783円			
総事業費[B]+[D]			59,582,232円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事故件数	警察及び市民からの通報による道路管理者の瑕疵件数（単年度）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.0	1.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度の事故については、1件という結果であり、その内容はグレーチングの跳ね上がりによる車両の損傷であった。今後、事故が起こらないようパトロールを強化する。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後、事故が起こらないよう道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、利用者の安全確保を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	除雪関係事業			款項目	07-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	道路法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民（道路利用者） 対象物：市道及び都留市公共物道路（赤線）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 積雪量が15cm以上になった場合は、市道及び都留市公共物道路（赤線）の除雪		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 車両及び歩行者の通行帯の確保（市民等の安全で快適な道路の確保）		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		16,079,000円			
	決算額[Ｂ]		12,211,208円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		75.9%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		融雪剤散布業務委託 862,215円 除雪業務委託 9,928,060円 融雪剤購入費 1,353,264円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	12,336,688円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		12,336,688円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		20人日　180,400円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,521,483円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			13,732,691円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
除雪による苦情	職員が受けた苦情件数とし、指標は単年度とする。（除雪依頼等は含まない）	件	目標値		58.0	57.0	56.0	55.0
			実績値	60.0	25.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	除雪路線を変更したことにより、駐車場出入口や畑等に除雪した雪を押し付けてしまうケースが見受けられる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	除雪路線を変更した場合については、降雪前に事前に数回現場確認を実施してもらい、除雪の対応をしてもらう必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	市単土地改良事業			款項目	05-01-04	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：近隣耕作者　　対象物：農業用水路及び道路
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農業用施設の適正な維持管理・老朽箇所の修繕（業者依頼・直営）
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農繁期に支障なく施設を利用し耕作する

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		32,587,266円			
	決算額[Ｂ]		26,207,266円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		80.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		消耗品費　24,466円 修繕費 9,689,030円 原材料費 331,470円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	26,262,266円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		26,262,266円			
人件費	一般職員		175人日　4,693,792円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		4,693,792円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			30,901,058円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	農業用施設の修繕が必要な苦情（年度小計）	件	目標値		56.0	55.0	54.0	53.0
			実績値	58.0	53.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		修繕料・漏水箇所が多数あり、緊急性及び優先度を考慮すると改修工事実施までの維持は不可能。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまでも修繕を行っているが、経年により耐用年数が経過している構造物がほとんどであるため、維持補修では追いつかない。本来は改修工事をすべきだが、箇所及び延長が多数あり追いつかないため、修繕により維持する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	林業施設事業			款項目	05-02-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：林道利用者　　対象物：林道		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市営林道の適正な維持管理・路面洗堀及び倒木処理等の修繕（業者依頼・直営）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	山間部にあるため安全に通行できる		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		8,159,000円			
	決算額[B]		6,701,852円			
	執行率[B]/[A]		82.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		修繕費　1,244,986円 委託料　5,445,000円 原材料費　11,866円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,749,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	15,662,852円			
	財源合計[C](=[B])		18,411,852円			
人件費	一般職員		70人日　1,877,517円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		30人日　270,600円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,148,117円			
総事業費[B]+[D]			8,849,969円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	林業施設の修繕が必要な苦情（年度小計）	件	目標値		3.0	3.0	2.0	2.0
			実績値	4.0	6.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	林道は山間部にあり大部分が未舗装となっているため、台風等の荒天後は路面洗堀及び倒木が発生する。今年度は、台風19号の台風で路面洗堀及び法面崩落等の修繕が多数発生した。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		修繕料は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持したい。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	なるべく被害を抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、未然に防ぐため維持に努める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	定式関係事業			款項目	07-03-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：利用者　　対象物：農業用水路及び道路側溝		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	水路の適正な維持管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	通年を通して支障なく施設を利用する。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			1,246,000円			
	決算額[B]			1,114,436円			
	執行率[B]/[A]			89.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			役務費　6,000円 使用料及び賃借料 1,108,436円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		1,114,436円			
	財源合計[C]（=[B]）			1,114,436円			
人件費	一般職員		20人日	536,433円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		80人日	721,600円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			1,258,033円			
総事業費[B]+[D]				2,372,469円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加自治会数	市内定式参加自治会数（年度小計）	自治会	目標値		43.0	43.0	44.0	45.0
			実績値	42.0	46.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	近年は水路に蓋が多くみられ土砂浚渫箇所が減少しているが、自治会の協力を得て定式を行い機能維持に努めている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	事業の推進を図ることにより水路等の機能維持管理が行えるため、参加していない自治会にＰＲを行っていく必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	景観形成事業			款項目	07-04-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	都市計画担当	記入者	勝俣　彰仁
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	景観法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	2	ふるさとへの誇りを醸成する景観づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市民、事業者、来訪者 対象物：市内の景観資源		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 景観計画策定により、景観形成に関する基本的な考え方や方針、基準等を明らかにするとともに、各種施策の実施により、都留市らしい良好な景観まちづくりの実現を図る。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 住む人にとっても、訪れる人にとっても心地よい誇りと交流を育む景観まちづくりの実現		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		9,885,000円			
	決算額[B]		9,169,100円			
	執行率[B]/[A]		92.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		景観計画策定業務委託 8,943,000円 景観計画策定委員会委員報酬 220,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	9,169,100円			
	財源合計[C](=[B])		9,169,100円			
人件費	一般職員		190人日	5,096,117円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]		5,096,117円			
総事業費[B]+[D]			14,265,217円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
良好な景観まちづくりの実施	景観まちづくり活動の実施件数(年度毎)	件	目標値		2.0	3.0	4.0	5.0
			実績値	1.0	2.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	景観条例制定(令和3年4月施行予定)に向け、景観づくり庁内検討会及び外部組織である景観計画策定委員会に諮り景観計画案を作成している。今後は、住民説明会、パブリック・コメント、都市計画審議会を実施し、景観計画の作成及び景観条例を制定する。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		景観計画策定業務委託											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	景観計画に基づく各種施策の実施により、景観に対する市民意識を醸成するとともに良好な景観まちづくりを図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都市公園管理事業			款項目	07-04-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	都市計画担当	記入者	勝俣　彰仁
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都市計画法・都市公園法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都市公園利用者 対象物：都市公園		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都市公園の整備及び維持管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 安全・安心で快適に利用ができる都市公園		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[A]		4,887,000円							
	決算額[B]		4,171,417円							
	執行率[B]/[A]		85.4%							
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		都市公園等清掃管理業務委託　311,557円 田原の滝公園清掃管理業務委託　558,580円 楽山風致公園桜植栽済箇所下刈業務委託　848,880円							
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	4,171,417円							
	財源合計[C](=[B])		4,171,417円							
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]		2,682,167円							
総事業費[B]+[D]			6,853,584円							

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
公園管理に関する苦情件数	適切な公園管理を実施し、利用者の満足度を向上させる(苦情数を減少させる)。	件	目標値		3.0	2.0	1.0	0.0
			実績値	5.0	3.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	財政状況を踏まえる中で、長寿命化計画に基づき楽山球場の計画的な改修を行う。また、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公営住宅施設管理費			款項目	07-05-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	建築住宅担当	記入者	関戸　章雄
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	公営住宅法、都留市営住宅条例等		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市営住宅入居者、市営住宅入居希望者 対象物：市営住宅		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市営住宅及び特定公共賃貸住宅の適正な管理 経年劣化・老朽化等にともなう修繕、入退去時におけるリフォーム、住宅設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市営住宅入居者の快適な生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		52,515,600円			
	決算額[B]		41,771,484円			
	執行率[B]/[A]		79.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市営住宅修繕費 26,014,101円 市営住宅保守点検等業務委託 15,033,594円 市営住宅退去時室内清掃等手数料 1,075,544円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	41,771,484円			
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		41,771,484円			
人件費	一般職員		425人日 11,399,208円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		11,399,208円			
総事業費[B]+[D]			53,170,692円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市営住宅入居率	市営住宅の年度末における入居率	%	目標値		90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	89.8	86.7			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	新規入居者に比べ退去者が多く、入居率の低下が課題となっている。令和元年度から新婚・子育て世帯家賃助成金制度が開始されたが、入居率の向上には至らなかった。入居率の動向や必要ストック数の情報収集に努め、市営住宅の有効活用を検討する。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	民間のストック戸数や市営住宅のニーズなど情報収集を行う。令和4年度に策定される公営住宅等長寿命化計画を見据え、市営住宅としての必要ストック戸数の把握に努める。既存ストックが必要ストック戸数に比べ多い場合には、目的外使用も含めた既存ストックの有効活用についても検討する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ブロック塀等撤去促進事業			款項目	07-05-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	建築住宅担当	記入者	関戸　章雄
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	都留市ブロック塀等撤去促進事業費補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：ブロック塀等の所有者又は管理者 対象物：地震発生時において倒壊し、又は転倒する危険性のあるブロック塀等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	危険なブロック塀等の撤去を行う者に対し、補助金を交付する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	危険なブロック塀等の撤去を促進することにより、地震発生時の危険なブロック塀等の倒壊又は転倒による災害を防止する。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			2,250,000円			
	決算額[B]			997,000円			
	執行率[B]/[A]			44.3%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			ブロック塀等撤去促進事業 997,000円			
	財源内訳	国庫支出金		392,000円			
		県支出金		193,000円			
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		412,000円			
	財源合計[C](=[B])			997,000円			
人件費	一般職員		32人日	858,293円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			858,293円			
総事業費[B]+[D]				1,855,293円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助件数	年度末における補助金交付件数	件	目標値		13.0	14.0	15.0	16.0
			実績値	12.0	14.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度、補助金交付実績は14件、99万7千円である。今後更に補助制度の周知を図るとともに、ブロック塀等の安全点検について啓発する中で、撤去を促進し災害の防止に努める必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	都留市の補助期間が令和2年度末までの時限措置となっている。延長された場合は、補助制度の周知を図るとともに、補助限度額の見直しを検討する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	施設管理費			款項目	01-01-01	評価責任者	井上　佳久
担当部	産業建設部	担当課	上下水道課	担当	水道管理担当	記入者	田代　崇
会計	簡水特会	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内11の市営簡易水道の施設管理及び運営に対する事業		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	水源施設の管理や水質検査等を行う事業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	住民の皆様に安心・安全な水道水を安定的に供給することを目指す		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		37,178,000円			
	決算額[B]		29,628,571円			
	執行率[B]/[A]		79.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		次亜塩素酸ソーダ購入費等948,720円 水源・配水池ポンプ施設電気料22,279,055円 水質検査委託料5,154,639円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	29,628,571円			
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		29,628,571円			
人件費	一般職員		230人日　6,168,983円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		6,168,983円			
総事業費[B]+[D]			35,797,554円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
水質検査項目	市営簡易水道が常に安全で良質な水道水を供給するため、法令で定められた水質基準51項目の実施	項目	目標値		51.0	51.0	51.0	51.0
			実績値	51.0	51.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	漏水の発生に伴い、水源・配水池ポンプ施設の電気料が増加してきている。本事業予算の7割以上がこの電気料の支出であり、近々に電気の契約を変更するなどして経費削減を図る予定である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	本事業においては、安定的な水道水の供給を行うため、施設の維持管理や水質管理を行っているが、現在予算計上しているものについては、必要最低限の経費となっているため、今後も現状を維持する方向で事業を行っていく。なお、電気料については、漏水によって配水量が増加することに伴って増えてしまうため、老朽管の布設替等により、改善させていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	井上　佳久 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	施設指導費			款項目	01-01-02	評価責任者	井上　佳久
担当部	産業建設部	担当課	上下水道課	担当	水道管理担当	記入者	田代　崇
会計	簡水特会	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	簡易水道組合（6組合）に対する事業		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	簡易水道組合の水質検査等の指導を行う事業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	簡易水道組合で管理している施設の維持管理を組合自身で行い、安心・安全な水道水の供給を行えるようにすることを目指す		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,408,000円			
	決算額[B]		1,360,286円			
	執行率[B]/[A]		39.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		水質検査委託料 1,360,286円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	1,360,286円			
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		1,360,286円			
人件費	一般職員		10人日	268,217円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		0人日	円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[D]		268,217円			
総事業費[B]+[D]			1,628,503円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
水質検査項目数	簡易水道組合が常に安全で良質な水道水の供給を行えるよう、法令で定められた水質基準51項目の実施	項目	目標値		51.0	51.0	51.0	51.0
			実績値	51.0	51.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本年度においては水質検査委託料のみの事業執行となったが、組合簡水からの要望があれば、簡易水道施設補助金を交付することになる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	管網整備及び市営簡水への移管に向けた施設整備を計画している簡易水道組合と相互に協議する際、農林水産省の中山間地域総合整備事業と本市の簡易水道施設補助金とを比較し、組合、本市にとって有利な方法を導き出す。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	井上　佳久 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公営企業会計システム（市立病院整備事業）			款項目		評価責任者	鬢櫛　美咲
担当部	市立病院	担当課	病院事務局	担当	総務企画担当	記入者	佐藤和哉
会計	病院事会	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	企業会計システム		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	企業会計システムの運用		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	公営企業会計処理		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		10,183,000円			
	決算額[B]		9,311,000円			
	執行率[B]/[A]		91.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		電算機器等使用負担金 3,375千円 企業開会構築システム委託 5,336千円 企業会計保守業務 600千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	9,311,000円			
	財源合計[C](=[B])		9,311,000円			
人件費	一般職員		12人日	321,860円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員		1人日	6,510円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		328,370円			
総事業費[B]+[D]			9,639,370円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
使用不可日数	障害によりシステムが使用できなかった日数	日	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企業会計稼働パソコンがWindows10に対応しておらず、パソコンの入れ替え及びシステム採用の必要であったが上下水道課との企業会計システムの相乗りが基幹系パソコンでの作業となることから5年間のランニングコストを比較し、独自の企業会計システム導入に至った。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後は、独自のシステムとなったことで柔軟な仕様変更・故障や災害時対応の体制構築を築く。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	鬢櫛美咲 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	電子カルテシステム・オーダリングシステム管理事業			款項目		評価責任者	坂巻　寛
担当部	市立病院	担当課	医事課	担当	医事担当	記入者	志村泰宏
会計	病院事会	事業開始年度	令和元年度	法定根拠・法令等	医師法等		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：外来及び入院患者、病院職員 対象物：電子カルテシステム・オーダリングシステム等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 電子カルテシステム・オーダリングシステムの円滑な機器更改作業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 効率的な診療体制を構築し、医療サービスの向上に繋げる		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		217,888円			
	決算額[B]		182,270円			
	執行率[B]/[A]		83.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		電子カルテ機器等（サーバ・端末）更改費用			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	217,800円			
		その他特定財源				
		一般財源	88円			
	財源合計[C](=[B])		217,888円			
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		2,682,167円			
総事業費[B]+[D]			2,864,437円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
患者数	入院及び外来の患者数	人	目標値		130400.0	135000.0	140000.0	145000.0
			実績値	130357.0	133353.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	次回入替（２０２５年）まで、故障を抑制した運用（使用方法等）を行う。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持												
	縮小												
	休止・廃止	○											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	坂巻　寛 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	老健施設管理事業（市立病院整備事業）			款項目		評価責任者	鬢櫛　美咲
担当部		担当課	介護老人保健施設「つる」	担当	老健管理担当	記入者	高山　みどり
会計	病院事会	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	介護老人保健施設「つる」利用者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	介護老人保健施設「つる」の施設管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	利用者が安心・安全に暮らせる施設		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		98,513,000円			
	決算額[B]		83,256,469円			
	執行率[B]/[A]		84.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		消耗備品費　588,660円 光熱水費　16,694,318円 燃料費　8,251,685円 修繕費　3,711,982円 委託料　54,009,824円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	83,256,469円			
	財源合計[C](=[B])		83,256,469円			
人件費	一般職員		80人日　2,145,733円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,145,733円			
総事業費[B]+[D]			85,402,202円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設管理費の割合	老健事業費に占める施設管理費の割合	%	目標値		17.8	17.6	17.4	17.2
			実績値	18.0	17.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	老朽化による施設設備や利用者の状況に合う環境整備のため修繕費が増加している。　24時間・365日体制のため光熱水費・燃料費の削減は難しい。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	施設整備計画を策定し、修繕、消耗備品の購入を行い、施設の維持管理に努める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	鬢櫛　美咲 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	常備消防総務関係費			款項目	08-01-01	評価責任者	小宮山みゆき
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務担当	記入者	杉田武士
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	消防組織法		
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	庶務・渉外業務管理、対外行事、施設運営管理		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	庶務・渉外業務に係る消耗品等物品調達管理業務並びに、災害拠点である消防庁舎・施設の日常点検及び保守点検を実施し、緊急性及び必要性を判断し修繕・更新を検討。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	消防庁舎・施設の点検業務を定期的に行い維持管理に努め施設の長寿命化を目指す。また、庁舎の維持管理費を含む庶務に係る業務全般の物品調達に対し費用対効果・ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄ等を考慮し経費削減を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		9,765,557円			
	決算額[B]		8,401,754円			
	執行率[B]/[A]		86.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		光熱水費　4,510,667円 消耗品費　477,998円 修繕料　465,817円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,401,754円			
	財源合計[C](=[B])		8,401,754円			
人件費	一般職員		40人日　1,072,867円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,072,867円			
総事業費[B]+[D]			9,474,621円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
経費削減	光熱水費の経費削減	千円	目標値		4519.0	4473.0	4428.0	4383.0
			実績値	4565.0	4510.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	7月中に消防庁舎2階照明のLED化取替修繕を実施、令和2年度に1階照明のLED化取替修繕を計上している。職員の節電意識の徹底と併せ経費削減を進めなければならない。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		光熱費等の経費削減											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和3年度に庁舎全体のLED化が完了する予定である。職員の節電意識を徹底し、さらなる経費削減を目指す。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育訓練関係費			款項目	08-01-01	評価責任者	小宮山みゆき
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務担当	記入者	杉田武士
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：消防職員 対象物：消防業務全般		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 消防職員の教育訓練及び各種業務に係る研修会等へ派遣		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 積極的に教育訓練、研修会に職員を派遣し、各担当業務並びに複雑多様化する災害に対応するべく、職員のスキルアップを目指し、少数精鋭で質の高い各種業務の遂行及び災害対応が出来るよう組織力を上げる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		6,027,000円			
	決算額[B]		3,202,040円			
	執行率[B]/[A]		53.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		負担金　2,849,277円 ※初任科入校経費 1,431,000円 大型自動車免許 587,464円 ドローン検定 269,400円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,202,040円			
	財源合計[C](=[B])		3,202,040円			
人件費	一般職員		40人日 1,072,867円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,072,867円			
総事業費[B]+[D]			4,274,907円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
職員1人あたりの研修等参加回数	研修等参加者（年間延べ人数）÷4月1日現在の職員数	回	目標値		0.6	0.9	1.2	1.5
			実績値	0.3	0.9			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	世代交代の大量退職を回避すべく採用の分散化を計っているため、脆弱な状況にある。令和元年度は救命士研修出向予定者が退職、令和2年度研修の出向も中止となる。退職者、傷病休暇者が発生し、研修は見合わせ無ければならないこともあり、着実に出向できる体制を構築中である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	必要性と有効性を勘案し、有用な研修に積極的に出向できる体制を作る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都留市消防団管理運営費			款項目	08-01-03	評価責任者	小宮山みゆき
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務	記入者	杉田武士
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	消防組織法第8条		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：都留市消防団		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	消防団員の報酬・褒章　災害時の安全確保のための装備の充実 各種研修等での災害対応能力の向上		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	法で定められた消防団員の装備充実　消防団員の資質の向上		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			14,902,000円			
	決算額[B]			12,736,602円			
	執行率[B]/[A]			85.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			災害出動・訓練に要する出動費　消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		12,736,602円			
	財源合計[C](=[B])			12,736,602円			
人件費	一般職員			240人日	6,437,200円		
		対象外事業分			円		
	嘱託職員			0人日	円		
		対象外事業分			円		
	臨時職員				円		
	別担当職員				円		
	人件費合計[D]			6,437,200円			
総事業費[B]+[D]				19,173,802円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
消防団員の装備充実	法で定められた消防団員の装備充実	%	目標値		90.0	90.0	100.0	100.0
			実績値	60.0	90.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に順じ、消防団員の装備の充実を図っている。また、災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、訓練等が重要。また、団員確保が困難な状況の中で機能別消防団員制度や学生消防団活動認定制度の導入を前向きに検討する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	議会だより発行事業			款項目	01-01-01	評価責任者	久保田　昌宏
担当部		担当課	議会事務局	担当		記入者	原田　和可子
会計	一般会計	事業開始年度	昭和46年度	法定根拠・法令等	都留市議会基本条例第16条		
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	2	市政情報提供手法の充実・多角化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	各定例会の議会活動を周知するため5月・8月・11月・2月に発行し、各自治会を通じて世帯に配布する。市のホームページでも公開している。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	開かれた議会を目指し、議会情報を積極的に提供する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,544,000円			
	決算額[B]		2,442,711円			
	執行率[B]/[A]		96.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		カラープリンタトナー代 86,896円 議会だより印本費 2,258,939円 つる市政のあらまし印本費 70,308円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,442,711円			
	財源合計[C](=[B])		2,442,711円			
人件費	一般職員		64人日 1,716,587円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		4人日 36,080円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,752,667円			
総事業費[B]+[D]			4,195,378円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民が議会活動に関心を持つ広報づくり	定例会等の情報提供だけでなく、行政視察の成果や市民への情報提供の場である議会報告会の参加者の充実を図り、積極的に周知する。	人	目標値		282.0	285.0	287.0	290.0
			実績値	281.0	168.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	2			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	議会活動を市民に伝える手段の一つとして「議会だより」を発行しているが、それが市民にとって読みたいと思えるものなのか。来年度は特別号の発行予定もあるが、作り手である議会サイドが満足するのではなく、読み手をもっと意識し、より市民目線での編集が必要であると考える。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	議会だよりについては、今後も常に改善を意識しながら編集していく。市民への直接の情報提供の場となる唯一の機会である議会報告会は、広く市民の意見を聞く場としても活用し、開催方法等を工夫しながら継続していく。市政のあらましについても、有効に活用してもらえるよう引き続き作成し、配布していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	久保田　昌宏 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学生アシスタント・ティーチャー事業（SAT）	款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学生アシスタント・ティーチャー配置事業実施要項		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	1	知の資源と連携したまちづくり
	施策	1	★大学等と連携した教育施策の展開
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 小中学校の放課後における小グループでの学習支援を中心とする活動（Aタイプ）、小中学校における授業支援を中心とする活動（Bタイプ）、小中学校において、学力不振、不登校傾向、多動、障害等による困難をもつ子供を対象に、個別的な支援や当該児童生徒のいる学級での補助的な活動（Cタイプ）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留文科大学の教員志望の学生を「学生アシスタント・ティーチャー」として市内小中学校に配置し、子ども中心のきめ細やかな指導を一層充実させうるとともに、教職員の多忙化の一助となる取組を行う。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			3,348,780円			
	決算額[B]			2,463,547円			
	執行率[B]/[A]			73.6%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）			学生アシスタント・ティーチャータクシー使用料 1,880,470円 学生アシスタント・ティーチャー事業旅費 505,360円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源		479,000円			
		一般財源		1,984,547円			
	財源合計[C](=[B])			2,463,547円			
人件費	一般職員			20人日	536,433円								
		対象外事業分			円								
	嘱託職員			0人日	円								
		対象外事業分			円								
	臨時職員				円								
	別担当職員				円								
	人件費合計[D]			536,433円			
総事業費[B]+[D]				2,999,980円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校受入満足率	SAT事業の学校受入希望数の割合 （学生派遣希望数/学校受入希望数） 【単年】	%	目標値		60.0	65.0	70.0	75.0
			実績値	59.0	53.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和2年度より、都留文科大学学校教育学科の新設により、学生のSAT事業への参加が必修となる。それに伴い、小中学校において参加希望者にバラつきが生じたり、学校の受入可能人数を超えた学生が派遣されることが懸念される。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	学生のSAT事業が一部の学生に必修となったことで参加人数が増加し経費増加も見込まれるが、教育現場でのきめ細やかな指導を充実させるとともに、教員志望の学生が教育現場を経験することで教員に必要な資質能力に関する自信に繋げる。また、当事業は都留文科大学とその設置者である行政が協議し展開する稀有な事業であり、教育養成の側面と教員の多忙化改善の一助ともなっているためさらなる発展をしていく必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校教育事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	個性をはぐくむ学校づくり推進事業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	基礎学力の定着と学力向上を目指した取組の推進 児童・生徒が安全・安心に学校生活を行える支援の推進		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			220,047,742円			
	決算額[B]			36,998,674円			
	執行率[B]/[A]			16.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 3,082,072円 日本スポーツ振興センター保護者掛金 1,934,245円 学校医等報酬　6,702,000円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金		50,750円			
		地方債					
		その他特定財源		1,712,044円			
		一般財源		35,235,880円			
	財源合計[C](=[B])			36,998,674円			
人件費	一般職員			60人日	1,609,300円		
		対象外事業分			円		
	嘱託職員			0人日	円		
		対象外事業分			円		
	臨時職員				円		
	別担当職員				円		
	人件費合計[D]			1,609,300円			
総事業費[B]+[D]				38,607,974円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事業等開催回数	地域の人が講師として開催した事業等の回数（単年）	回	目標値		120.0	130.0	140.0	150.0
			実績値	114.0	127.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	各学校への地域性や独自性に係る活動に対して予算的な補助をしているが、学校で地域性・独自性が失われてきており振興事業との差別化が難しくなってきている。また、「個性」の形成を支援する医療等の保障についても更なる発展をしていく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	個性を育む学校づくりを形成するために、地域や学校との連携を密にとり、より有意義な補助金にしていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育研修センター事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市内小中学校児童・生徒及び保護者、教育関係職員		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	教育関係職員の研修、児童・生徒及び保護者の教育相談、児童・生徒の各種発表会等の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	新学習指導要領に沿った創意工夫による特色ある教育活動を推進し、児童・生徒の「生きる力」を育む。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,911,934円			
	決算額[B]		3,723,453円			
	執行率[B]/[A]		95.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市内中学校演劇鑑賞会委託料 864,000円 社会科見学・演劇鑑賞会・親善音楽会バス借上げ 1,788,847円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	248,000円			
		一般財源	3,475,453円			
	財源合計[C](=[B])		3,723,453円			
人件費	一般職員		30人日	804,650円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		960人日	8,659,200円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員		5人日	32,550円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[D]		9,496,400円			
総事業費[B]+[D]			13,219,853円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
研修の参加率	教育関係職員の市主催研修への参加率（単年）	%	目標値		81.0	85.0	90.0	90.0
			実績値	80.0	80.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	年間を通じて、各研究委員会においてテーマを決め教育専門職の資質向上を図るため、研究会を実施しているが、教育現場で深刻化する教員の働き方の問題も踏まえ、研修会への参加について実施方法等の工夫が必要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまで通り教員の資質の向上を図ることを目的に短期・長期研修の充実を図る。また読書感想文作品集の製本及び配布を行っていき、小学校社会科見学及び中学校演劇鑑賞会等の支援事業を実施、児童生徒及び就学前の幼児に係る教育相談を実施していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	障害児教育事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 特別支援学級設置事業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 障がいのある児童生徒が十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備により、特別支援教育の構築を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		14,326,431円			
	決算額[Ｂ]		10,962,731円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		76.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		特別支援学級担当教員補助員賃金 8,730,582円 特別支援教育用教材費 388,354円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	10,962,731円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		10,962,731円			
人件費	一般職員		40人日　1,072,867円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		240人日　2,164,800円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		3,237,667円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			14,200,398円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
特別支援学級教員補助員配置校	特別支援学級教員補助員を配置できた校数	校	目標値		6.0	6.0	7.0	7.0
			実績値	7.0	6.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。関係機関と連携を図り支援していくことが必要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	関係機関との連携を密にし、情報の共有を図ることで支援の内容を検討し充実させていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育課程特例校推進事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育課程特例校制度		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：都留文科大学附属小学校の児童		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	都留文科大学附属小学校を教育課程特例校の指定校とし、学習指導要領によらない小学校1年生から6年生までの一貫した英語教育を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	児童数の確保を図るとともに、低学年からの英語教育を施すことで実践力を養い、また都留文科大学との連携を強化する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		5,324,000円			
	決算額[Ｂ]		5,322,791円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		外国語指導助手派遣業務委託 5,286,503円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	5,322,791円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		5,322,791円			

人件費									
	一般職員	15人日	402,325円						
	対象外事業分		円						
	嘱託職員	0人日	円						
	対象外事業分		円						
	臨時職員		円						
	別担当職員		円						
	人件費合計[Ｄ]		402,325円						
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			5,725,116円						

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
英語検定合格者	都留文科大学附属小学校の英語検定合格者人数（5級以上）	人	目標値		2.0	2.0	3.0	3.0
			実績値	0.0	2.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留文科大学附属小学校に専任のALTを配置し、小学校1,2年生から英語活動に触れることができ、授業中だけではなく掃除や給食なども交流の時間があるため英語力と国際力が培われてはいるが、新学習指導要領の改正により他の学校との差別化ができなくなってきている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度末に英語特区の期間が満了することに伴い、教育課程特例校の見直しを図る必要がある。令和2年度より新学習指導要領の改正があり、英語特区としての特長を生かした学校運営を都留文科大学との連携を強化するなか進めていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	外国語指導者招致事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	招致外国青年就業規則		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市内小中学校児童・生徒（都留文科大学附属小学校を除く10校）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	外国語指導者（ALT）による新学習指導要領に沿った英語教育を実施する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	ALTによる外国語教育、国際理解教育の充実を図り国際性豊かな子供の育成に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			31,876,920円			
	決算額[B]			31,772,996円			
	執行率[B]/[A]			99.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			外国語指導助手派遣業務委託 31,718,996円 外国語指導助手に関する教育研修委託 54,000円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		31,772,996円			
	財源合計[C](=[B])			31,772,996円			
人件費	一般職員		15人日	402,325円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			402,325円			
総事業費[B]+[D]				32,175,321円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
外国語指導者配置数	都留文科大学附属小学校を除く市内小中学校に外国語指導者（ＡＬＴ）を配置した人数（単年）	人	目標値		6.0	7.0	8.0	9.0
			実績値	4.0	6.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ALTによるネイティブな外国語教育により、英語力と国際力が培われている。平成30年9月より、委託事業者を変更しALTを４名配置。また、令和元年度にはさらに2名を増員し、各学校での英語教育を取り組む時間が増えている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	新学習指導要領の改正により、小学校でも「英語」の授業のウエイトが高くなった。ALTを活用した授業を展開していくことはもちろん、運動会やその他の学校行事への参加、他国の文化に触れあう時間を増やしていき児童・生徒に必要なコミュニケーション能力の形成、英語への興味関心を高めていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学力向上フォローアップ事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	放課後や授業の空き時間、長期休業等を活用し学力に不安のある児童の基礎学力向上を図る。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	学力に不安のある児童・生徒への基礎学力の定着を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			3,346,000円			
	決算額[B]			2,524,750円			
	執行率[B]/[A]			75.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			学習支援講師謝金 2,524,750円			
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金		682,000円			
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		1,842,750円			
	財源合計[C](=[B])			2,524,750円			
人件費	一般職員			20人日	536,433円								
		対象外事業分			円								
	嘱託職員			0人日	円								
		対象外事業分			円								
	臨時職員				円								
	別担当職員				円								
	人件費合計[D]			536,433円									
総事業費[B]+[D]				3,061,183円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学力向上フォローアップ事業の拡大	市内小中学校すべての学校において学力向上フォローアップ事業を行う。（単年）	校	目標値		11.0	11.0	11.0	11.0
			実績値	10.0	10.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現状、講師として大学生や地域人材を活用しているが費用面の負担が増加している。学力に不安のある児童・生徒への基礎学力の向上を担っているものの、数字等での客観的な成果が見えづらく今後取組内容等の検討が必要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		会計年度任用職員報酬											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度より、会計年度任用職員（教員補助員）の業務の中に学力向上フォローアップ事業を盛り込むため従来に比べて費用面は抑えられる。ただし、学力を示す数値として客観的な指標が出づらいためICT機器を用いた学習環境の構築等と併用していく必要性がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校運営協議会設置推進事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校組織全体の総合力を高める協議会の推進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内各小学校への運営協議会の設置し、地域と連携した学校運を行う。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		222,000円			
	決算額[B]		112,856円			
	執行率[B]/[A]		50.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		学校運営協議会報酬 100,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	112,856円			
	財源合計[C](=[B])		112,856円			
人件費	一般職員		20人日 / 536,433円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		536,433円			
総事業費[B]+[D]			649,289円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内学校運営協議会設置数	市内に学校運営協議会を設置した校数（累計）	校	目標値		3.0	5.0	8.0	11.0
			実績値	1.0	1.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本市での設置は、旭小学校のみとなっているが、山梨県全体の設置数も低く、文部科学省の方針により学校運営協議会の設置が努力義務から義務化する可能性もあるため導入計画を立て学校・地域と連携し、順次導入していかなければならない。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		文科省において、学校運営協議会の設置が推奨・拡大傾向にあるため。 委員報酬											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を要請していく。また、すでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	小学校管理事業（学校教育課分）			款項目	09-02-01	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小学校児童 対象物：市内小学校		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の共有する小学校の適正な管理 経年劣化・老朽化による修繕、設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 小学校児童の快適な学校生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		342,965,000円			
	決算額[Ｂ]		326,847,332円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		95.3%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		電気料・上下水道料 30,952,834円 谷村第二小学校に係る土地購入費 5,970,000円 スクールバス運行業務委託 14,348,760円			
	財源内訳	国庫支出金	38,258,000円			
		県支出金	317,192円			
		地方債				
		その他特定財源	697,560円			
		一般財源	287,574,580円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		326,847,332円			
人件費	一般職員		115人日　3,084,492円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		3,084,492円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			329,931,824円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
小学校トイレ洋式化及び乾式化	トイレの洋式化及び乾式化して整備された校数（累計）	校	目標値		1.0	2.0	3.0	4.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	学校要望における施設修繕や施設改修について状況を確認し、児童が安心で安全な教育環境整備に努める。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき予算との整合性を調整しつつ計画的な改修をしていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	小学校教育振興事業（学校教育課分）			款項目	09-02-02	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小学校児童 対象物：市内小学校		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 新学習指導要領に沿った教育環境を提供する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」を3つの柱とし、溢れる情報の中から必要な情報を主体的に選択・活用できる力を身につける。		

２．実施結果（DO）

単位：円				令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]			42,764,000円			
	決算額[B]			38,659,890円			
	執行率[B]/[A]			90.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）			小学校PC教室用パソコン使用料（220台分）2,332,800円 小学校電子黒板リース料 3,597,804円 教師用学習系端末リース料 2,716,416円			
	財源内訳	国庫支出金		415,944円			
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源		38,243,946円			
	財源合計[C](=[B])			38,659,890円			
人件費	一般職員		55人日	1,475,192円			
		対象外事業分		円			
	嘱託職員		0人日	円			
		対象外事業分		円			
	臨時職員			円			
	別担当職員			円			
	人件費合計[D]			1,475,192円			
総事業費[B]+[D]				40,135,082円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
児童1人1台ノートパソコンの整備率	児童1人1台ノートパソコンの整備を行う。	%	目標値		50.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	20.0	20.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	児童の教材備品等の整備や新学習指導要領の改正に合わせたICT機器等の整備を進めている。平成30年度までにパソコン教室等へのタブレットの整備、令和元年度には電子黒板の整備をしており、引き続きICT機器の整備・拡大を目指す。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		さらなるICT環境の整備 会計年度職員人件費 機器リース料など											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	電子黒板やタブレットなどのハード面の整備と並行して、ドリル教材やデジタル教科書等のソフト面の整備を実施していく。また、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作等、ICT活用技術に知見を有する専門スタッフを配置していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中学校管理事業（学校教育課分）			款項目	09-03-01	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内中学校生徒 対象物：市内中学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する中学校の適正な管理 経年劣化・老朽化による修繕、設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 中学校生徒の快適な学校生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		160,364,000円			
	決算額[Ｂ]		154,126,072円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		96.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		都留第二中学校電車通学定期使用料 4,020,340円 スクールバス運行業務委託 20,996,540円 電気料・上下水道料 15,296,863円			
	財源内訳	国庫支出金	14,351,000円			
		県支出金	260,947円			
		地方債				
		その他特定財源	1,660,650円			
		一般財源	137,853,475円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		154,126,072円			
人件費	一般職員		95人日	2,548,058円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		0人日	円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[Ｄ]			2,548,058円		
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]				156,674,130円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
中学校トイレ洋式化及び乾式化	トイレの洋式化及び乾式化して整備された校数（累計）	校	目標値		1.0	1.0	2.0	2.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	学校要望における施設修繕や施設改修について状況を確認し、適切な手配を進めている。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	137853475
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中学校教育振興事業（学校教育課分）			款項目	09-03-02	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校基本法及び学校教育法		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市内小学校児童 対象物：市内小学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	新学習指導要領に沿った教育環境を提供する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」を3つの柱とし、溢れる情報のなかから必要な情報を主体的に選択・活用できる力を身につける。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		28,033,000円			
	決算額[B]		24,825,126円			
	執行率[B]/[A]		88.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		小学校PC教室用パソコン使用料（220台分） 25,427,520円 小学校電子黒板リース料 3,522,048円 教師用学習系端末リース料 2,746,800円			
	財源内訳	国庫支出金	421,056円			
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	24,404,070円			
	財源合計[C](=[B])		24,825,126円			
人件費	一般職員		55人日 / 1,475,192円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,475,192円			
総事業費[B]+[D]			26,300,318円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
生徒1人1台ノートパソコンの整備	生徒1人1台ノートパソコンの整備を行う。	%	目標値		30.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	20.0	20.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	生徒の教材備品等の整備や新学習指導要領の改正に合わせたICT機器等の整備を進めている。令和30年度にタブレットの整備、令和元年度には電子黒板の整備をしており、引き続きICT機器の整備・拡大を目指す。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		さらなるICT環境の整備											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	電子黒板やタブレットなどのハード面の整備と並行して、ドリル教材やデジタル教科書等のソフト面の整備を実施していく。また、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作等、ICT活用技術に知見を有する専門スタッフを配置していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校給食運営事業			款項目	09-06-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校教育法、学校給食法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内小中学校、児童生徒		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市内小中学校に統一献立・共同物質による共同調理場及び単独調理場方式による給食の提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	給食を安心・安全に提供することとし、身体の発育期にある児童生徒に対し、栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		74,692,000円			
	決算額[B]		68,132,200円			
	執行率[B]/[A]		91.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		各種消耗品 8,083,775円 修繕費5,87,870円、委託料 21,439,998円、備品購入費 1,378,080円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	986,850円			
		一般財源	67,145,350円			
	財源合計[C](=[B])		68,132,200円			

人件費									
	一般職員	240人日	6,437,200円						
	対象外事業分		円						
	嘱託職員	720人日	6,494,400円						
	対象外事業分		円						
	臨時職員		円						
	別担当職員		円						
	人件費合計[D]		12,931,600円						
総事業費[B]+[D]			81,063,800円						

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校給食地場産物の使用	学校給食地産地消の推進	%	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0
			実績値	12.6	29.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	機械設備の経年劣化に伴い、長期計画に盛り込み更新や修繕を実施し計画していく。また、センターの機械設備は特注品であり、躯体に対する付属部品の劣化等の点検を行い、長寿命化を図っていく。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまでの安心安全を継続しつつ、経費削減を図ることを目的として事業の成果を上げて行く。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校給食会委託事業			款項目	09-06-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校教育法、学校給食法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	都留市小中学校給食会		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市内小中学校の統一献立、共同物資による給食調理の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	給食を安心・安全に提供することとし、身体の発育期にある児童生徒に対し、栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		70,662,000円			
	決算額[B]		64,983,035円			
	執行率[B]/[A]		92.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		調理従事者の給与及び賃金 58,512,008円 給食運営費 1,012,377円 給食用食材費 1,695,591円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	64,983,035円			
	財源合計[C](=[B])		64,983,035円			

人件費									
	一般職員	0人日	円						
	対象外事業分		円						
	嘱託職員	240人日	2,164,800円						
	対象外事業分		円						
	臨時職員		円						
	別担当職員		円						
	人件費合計[D]		2,164,800円						
総事業費[B]+[D]			67,147,835円						

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
調理従事者	就業基準に沿った調理従事者の雇用（累計）	人	目標値		23.0	23.0	23.0	23.0
			実績値	22.0	17.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	調理員の人手不足に伴い、今後の学校給食提供に不安定な要素が見られる。引き続き調理員確保を重視した中で、専門性を有する民間事業者への委託などの検討が必要と考えられる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、調理員の退職や欠員の確保を図り、今後近隣市町村の現状を踏まえ、調理員の待遇及び予算の見直し等を行っていく。 また、令和４年度の公会計化に向け準備を進めていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教員住宅管理事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：教員住宅入居者 対象物：教員住宅		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する教員住宅の適正な管理 経年劣化・老朽化等による修繕、入退去によるリフォーム、住宅設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 教員住宅入居者の快適な生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		970,100円			
	決算額[B]		808,207円			
	執行率[B]/[A]		83.3%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		教員住宅（深田・大幡）修繕 400,000円 浄化槽清掃管理業務委託 75,900円 消防設備保守点検業務委託 83,600円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	808,207円			
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])		808,207円			

人件費									
	一般職員	0人日	円						
	対象外事業分		円						
	嘱託職員	0人日	円						
	対象外事業分		円						
	臨時職員		円						
	別担当職員		円						
	人件費合計[D]		円						
総事業費[B]+[D]			808,207円						

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
修繕要望数	入居者が安心して暮らせる施設を提供するための要望に対する対応数	箇所	目標値		4.0	4.0	3.0	3.0
			実績値	5.0	6.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	教員住宅は建設からかなりの年数が経っており、経年劣化や老朽化がかなり見受けられる。また、大幡教員住宅については、教員住宅以外の用途の在り方を検討していかなければならない。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持												
	縮小	○											
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		大幡教員住宅について、使用用途の再検討											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまで通り適正な管理を行う中で、今後教員住宅の用途を多様化するニーズに合わせて変更をする必要がある。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	適応指導教室事業			款項目	09-01-03	評価責任者	小俣　秀樹
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市適応指導教室設置要綱		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	不登校児童生徒		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	適応指導教室（スマイル教室）の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	不登校に陥っている児童生徒に対する学習補充支援や仲間との触れ合いを通じ、再登校への意欲を持たせ学校へ繋げる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		765,835円			
	決算額[B]		708,519円			
	執行率[B]/[A]		92.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		適応指導教室パソコン機器構築委託料 660,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	708,519円			
	財源合計[C](=[B])		708,519円			
人件費	一般職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		円			
総事業費[B]+[D]			708,519円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校復帰への割合	適応指導教室入室児童生徒が学校へ復帰した割合	%	目標値		0.0	20.0	30.0	40.0
			実績値	0.0	0.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	県が運営するこすもす教室が撤退するため、令和２年度から市が適応指導教室（スマイル教室）を運営するため、環境整備を行う。また、道志村からの依頼により道志村の不登校児童生徒の受入れを行う見込みである。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	不登校児童生徒が低年齢化するなかで、市独自で運営することにより対象児童の年齢を下げた対応が可能となった。今後は、不登校児童生徒が増えている状況のなかで、一人でも多くの児童生徒が再登校できるよう支援に努める。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	成人式開催事業			款項目	09-05-01	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	記入者	有賀ひとみ
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	20歳になった新成人		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	新成人を祝い励ます成人式式典を挙行する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	新成人が大人としての自覚を持ち、次代の担い手として社会に貢献する意識の高揚を図ることを目的とする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		494,000円			
	決算額[B]		380,781円			
	執行率[B]/[A]		77.1%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・司会者等への謝礼　50,000円 ・新成人への記念品 211,750円 ・会場周辺警備委託料 39,600円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	380,781円			
	財源合計[C](=[B])		380,781円			
人件費	一般職員		60人日　1,609,300円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,609,300円			
総事業費[B]+[D]			1,990,081円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
式典出席率	都留市に住民登録している新成人の式典出席率（住民登録している出席者／11.1現在の対象者）	%	目標値		45.0	45.0	45.0	45.0
			実績値	43.0	44.9			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	例年並みの予算で、トラブルもなく厳粛な式典が挙行できた。会場周辺の交通整理や駐車場の誘導、雪が降った場合の対応などが課題である。出席率は県内他市町村と比較して低く見えるが、対象者に多く含まれている都留文科大学生が地元の成人式に出席していることを考慮すれば、妥当な数字と言える。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	厳粛な式典を行うため、酒類や旗等の持ち込みをしないよう立て看板などで注意を促すほか、警察へ会場周辺のパトロール強化を依頼する。また、駐車場の整理・誘導を担当する職員の事前打ち合わせを綿密に行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	青少年健全育成事業（のびのび興譲館事業）			款項目	09-05-05	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	記入者	有賀ひとみ
会計	一般会計	事業開始年度	平成13年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	小学4年生から中学3年生で、活動日数の2分の1以上参加できる者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	異年齢集団の中で、1年間を通して自然体験・社会体験などの体験活動を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	仲間づくりを行い、友愛の心・自立の心・郷土愛の心などを育み、協調性や忍耐、思いやりの心を養い、地域の中でリーダーシップがとれる青少年を育成する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		1,453,000円			
	決算額[B]		870,738円			
	執行率[B]/[A]		59.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		自然、フィッシング、クッキング、発明クラブ、アートの5塾と全体キャンプ ・指導員謝金　297,000円 ・活動消耗品　220,720円 ・施設使用料等　190,494円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	267,300円			
		一般財源	603,438円			
	財源合計[C](=[B])		870,738円			
人件費	一般職員		120人日　3,218,600円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		3,218,600円			
総事業費[B]+[D]			4,089,338円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
のびのび興譲館塾生の修了率	全塾生のうち、各塾の活動日数の2分の1以上出席した塾生の割合	%	目標値		84.0	85.0	86.0	86.7
			実績値	80.0	83.3			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	限られた予算内で様々な体験活動が行えるよう、各塾の指導員が工夫を凝らしており、参加した塾生の満足度は概ね高い。定員に満たない塾もあるが、児童生徒数の減少や、土日にスポ少や習い事がある子どもが増えていることも要因と考えられる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	各塾の活動内容の広報を積極的に行い、参加者の増加に努める。アンケートにより塾生や保護者のニーズを把握し、各塾の活動内容の見直し・充実を随時行う。また、事業の目的である子どもたちの健やかな成長とジュニアリーダーの育成に合致した、新たな塾の創設も検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	青少年健全育成事業（放課後子ども教室事業）			款項目	09-05-05	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	記入者	有賀ひとみ
会計	一般会計	事業開始年度	平成16年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 全ての就学児童		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域の方々や大学生の参画を得て、遊びやスポーツ、農業、ものづくり、料理などの体験活動を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 子どもたちが放課後や週末を安全・安心に過ごすことができ、地域の中で多様な体験活動や交流活動を通して健やかに成長することを目的とする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［Ａ］		4,752,000円			
	決算額［Ｂ］		4,440,887円			
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		93.5%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・コーディネーター謝金 2,741,760円 ・指導員謝金　765,240円 ・活動消耗品　481,308円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,314,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,126,887円			
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		4,440,887円			
人件費	一般職員	96人日	2,574,880円			
	対象外事業分		円			
	嘱託職員	0人日	円			
	対象外事業分		円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計［Ｄ］		2,574,880円			
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			7,015,767円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
「放課後子ども教室」指導者数	指導員やボランティアとして「放課後子ども教室」の活動に関わった大人の延べ人数（学生を含む）	人	目標値		1680.0	1764.0	1852.0	1944.0
			実績値	1538.0	1773.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域協働のまちづくり推進会や都留文科大学生の協力を得ながら、6小学校区で放課後児童クラブと連携した放課後子ども教室を実施し、多様な体験活動を行った。活動に継続して携わっていただける地域の指導員や学生スタッフの確保が課題である。また、現在子ども教室が開設されていない小学校区が2校ある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・コーディネーター報酬 ・放課後子ども教室事業補助金　など											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	全ての就学児童を対象とした事業であり、現在子ども教室を開設していない2小学校区についても、順次開設を目指していく。そのためには地域の理解と協力が必須であるため、地域協働のまちづくり推進会へ子ども教室事業についての説明を行い、地域の実情を把握しながら、実現可能性について検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	増田誠大賞公募展開催事業			款項目	09-05-06	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、美術愛好家		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 郷土の画家　増田誠を広く周知し、芸術文化の振興を図る。 自ら絵画を作成するきっかけとなる絵画コンテストを開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 芸術文化の振興に務める。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		267,000円			
	決算額[B]		180,323円			
	執行率[B]/[A]		67.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		審査員謝礼・入賞者賞賜金：45千円 入賞者記念楯・参加賞購入：102千円 チラシ印刷：43千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	180,323円			
	財源合計[C](=[B])		180,323円			
人件費	一般職員		95人日　2,548,058円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,548,058円			
総事業費[B]+[D]			2,728,381円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
大賞展出品件数	公募展への出品点数（一般の部、小中学生の部）	点	目標値		260.0	262.0	264.0	266.0
			実績値	256.0	271.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	小・中学生の応募者数が減少傾向にある。学校のヒアリングでは賞金よりも参加賞の方が子どもが申込む意欲が増すという回答が複数の教員からあった。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和元年度からは入賞者への賞金は一般の部のみとし、小中学生の部の出品者に対しては参加賞を用意した。チラシの配布先を増やしたりＳＮＳなどインターネット上でのＰＲを推進する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	芭蕉の里づくり事業			款項目	09-05-06	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成4年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、全国俳句愛好家		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	都留市ふれあい全国俳句大会を開催し、全国各地の俳句愛好家が俳句を通じてふれあう機会を提供する。 高校生・大学生部門を設け、若年層の掘り起こしと全国へ都留文科大学のＰＲを行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	俳句大会を通じて、俳句の振興を図るとともに、都留市が松尾芭蕉ゆかりの地であることを全国にアピールし、俳句大会だけでなく、まちづくりにも活かせるよう芭蕉の里づくりを推進する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,035,349円			
	決算額[B]		2,897,629円			
	執行率[B]/[A]		95.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		賃金：365千円 応募句選者謝礼：1,060千円 記念講演謝礼：250千円 入賞記念品：164千円 作品集印刷：358千円 投句用紙印刷：154千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	871,000円			
		一般財源	2,026,629円			
	財源合計[C](=[B])		2,897,629円			
人件費	一般職員		170人日　4,559,683円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		4,559,683円			
総事業費[B]+[D]			7,457,312円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
応募作品の部投句数	一般部門、高校生・大学生部門の投句数を合計（年間）したもの	句	目標値		4050.0	4060.0	4070.0	4080.0
			実績値	4025.0	4153.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	俳句大会の一般部門については参加者の年齢層が上がり、リタイアしていくのに反比例して、新規の参加者が増えていない。高校・大学生の部では応募する学校数が増えているのに参加者数が減少していることから、リピーターがつかないことも考えられる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	大会当日の運営の中心であった都留市俳句連盟の会員数減少と高齢化に伴い、学生アルバイトの人員を増やすなど、大会運営方法の検討をする必要がある。県内外へのＰＲ活動を進め、投句数の増加に努める。また、大学生の投句が少ないため、大学への広報を重点的に行い、ＳＮＳでもＰＲも推進する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	文化財保護事業			款項目	09-05-07	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	文化財保護法、都留市文化財保護条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	埋蔵文化財の調査、文化財の調査・研究・指定、指定文化財の保存・活用 文化財保護のための補助		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内にある文化遺産の保護・継承		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		1,687,088円			
	決算額[B]		874,599円			
	執行率[B]/[A]		51.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		文化財審議会報酬：100千円 埋蔵文化財調査・整理作業員賃金：588千円 試掘調査重機借上げ：950千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	335,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	539,599円			
	財源合計[C](=[B])		874,599円			
人件費	一般職員		60人日　1,609,300円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,609,300円			
総事業費[B]+[D]			2,483,899円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
埋蔵文化財包蔵地の照会件数	市内での開発行為の際、計画地に埋蔵文化財があるかどうかの確認する必要があり、その照会件数	件	目標値		455.0	460.0	465.0	470.0
			実績値	454.0	412.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域の貴重な財産である文化財を後世に引き継いで行くことが目的であるが、保存・活用には、多額の費用が必要であるので財源確保が重要である。また、文化財調査や研究には、人材の確保と育成も重要である。特に埋蔵文化財の発掘調査は、大学で専門教育を受け経験者の下で指導を受けた者が調査にあたるため、他の担当から異動してきた職員では対応することはできないので、長期的計画の上での人事配置が必要である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や文化、年中行事等の保存継承を進め、併せて文化財の活用についても検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	尾県郷土資料館運営事業			款項目	09-05-07	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	教育関係の資料館として一般公開する。（毎週火・木・土・日曜日、祝日に開館） 資料館協力会の協力のもと、資料館まつりを10月下旬に開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内にある文化遺産の保護・継承		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		2,766,100円			
	決算額[Ｂ]		2,726,743円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		98.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		資料館まつり賃金：64千円 資料館まつり講師謝金：110千円 光熱水費：134千円 資料館まつり賄い：25千円 館長執務謝礼：1020千円 植木選定委託料：86千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,726,743円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,726,743円			
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円		
		対象外事業分		円		
	嘱託職員		0人日	円		
		対象外事業分		円		
	臨時職員			円		
	別担当職員			円		
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			4,067,826円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	尾県郷土資料館の年間入館者数	人	目標値		2400.0	2420.0	2460.0	2480.0
			実績値	2391.0	2309.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	資料館の活用という点では、来館者数を増やすことはもちろんだが、来館者の約半数は地元利用者のとくに高齢者と小学生である。現代、高齢者と小学生ともに「居場所」づくりが求められているが、資料館は「居場所」としての機能を有しているといえ、この点を強化する取組は課題である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	来館者の増加については、従来のチラシやインターネット利用の他、ＳＮＳを活用していく。高齢者と小学生の「居場所」としての資料館づくりについては、資料館を色々な面で支えてくれる地元住民からなる「資料館協力会」とともにその方途を検討していきたい。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	商家資料館運営事業			款項目	09-05-07	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成6年度	法定根拠・法令等	都留市商家資料館設置条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	資料館として一般公開する。（毎週火・木・土・日曜日、祝日に開館）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市内にある文化遺産の保護・継承		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,871,917円			
	決算額[B]		2,868,860円			
	執行率[B]/[A]		99.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		光熱水費：42千円 館長執務謝礼：1020千円 小修繕：100千円 負担金(街灯維持)：20千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,868,860円			
	財源合計[C](=[B])		2,868,860円			
人件費	一般職員		35人日 / 938,758円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		938,758円			
総事業費[B]+[D]			3,807,618円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	商家資料館の年間入館者数	人	目標値		870.0	880.0	890.0	900.0
			実績値	867.0	592.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	平成30年度まで来館者数は増加傾向にあるが、偶発的な団体利用によって増減する傾向があるため、定常的な団体利用を促すことを検討する必要がある。また、尾県郷土資料館と比較すると地元住民の利用率は低いため、地元利用を促す方策も同時に検討する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	団体利用については、学校見学のほか、他市町村の教育委員会の研修会が多いため、学校や県内教育委員会向けに資料館をＰＲすることを検討する。また、地元利用者の増については、魅力的なイベントを開催するなど集客に努めたい。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	八朔祭屋台展示庫事業			款項目	09-05-07	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	八朔祭の屋台3台を保管・展示及び早馬町屋台会館の維持。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	都留市の貴重な財産である八朔祭の屋台（市指定文化財）を保護する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		2,138,775円			
	決算額[B]		2,128,564円			
	執行率[B]/[A]		99.5%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		機械警備料:239千円 正面扉ガラス清掃委託料:26千円 土地使用料(織協)：1,500千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,128,564円			
	財源合計[C](=[B])		2,128,564円			
人件費	一般職員		15人日 / 402,325円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日 / 円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		402,325円			
総事業費[B]+[D]			2,530,889円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
屋台の保管	屋台の保管	台	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	3.0	3.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・建物の敷地は、谷村織協から借用している。3年に1度契約の更新を行っているが、現契約が令和4年度末に満了となるので、このまま借り続けるのか、買収することが可能か検討する必要がある。 ・早馬町屋台会館は建設から29年が経過し、今後外壁などの補修が必要になってくる
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	建設から23年が経過し、建物の補修の必要が今後考えられる。長寿命化計画の策定等も実施して行く。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都の杜うぐいすホール管理運営事業			款項目	09-05-09	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成8年度	法定根拠・法令等	都の杜うぐいすホール条例		
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、芸術愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	多種多様な芸術文化の鑑賞の機会を提供する。 文化活動の推進のため、貸館サービスを充実されると共に、市内外に積極的にＰＲを行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民に上質な芸術文化を鑑賞する機会を提供する。また、市民自らが創造する参加型イベントを実施し、芸術文化の振興を図るほか、独自の事業を展開することにより、都留市をＰＲする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		106,439,771円			
	決算額[B]		106,434,411円			
	執行率[B]/[A]		100.0%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		中央監視システム修繕：21,384千円 大小ホール調光盤修繕：1,959千円 屋上自家発電機触媒栓式鉛蓄電池取替修繕：721千円 指定管理料：80,356千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	21,084,000円			
		一般財源	85,350,411円			
	財源合計[C](=[B])		106,434,411円			
人件費	一般職員		45人日　1,206,975円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		1,206,975円			
総事業費[B]+[D]			107,641,386円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	大ホール・小ホールの利用率の平均値	%	目標値		64.0	64.2	64.4	64.6
			実績値	63.6	62.2			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・指定管理者制度を導入し(一財)都留楽友協会に管理運営を委託している。開館から22年が経過し、建物本体や給排水設備、舞台機構、照明・音響設備等が老朽化している。毎年少しずつ修繕を行っているが、高額な設備もあるため中長期的な更新計画を作成しなければならない。建物本体や空調設備の大規模改修の基本計画は作成済みであるので、それに続く実施計画の作成を進める必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・大規模改修の実施設計、舞台機構の修繕等を長期計画に上げ、事業を推進する。 ・舞台関係の修繕を引き続き実施して行く。 ・利用率を増やすような自主事業の開催や貸館利用の促進を指定管理者と協議していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都の杜うぐいすホール事業費補助事業			款項目	09-05-09	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成8年度	法定根拠・法令等	都の杜うぐいすホール企画事業費補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、芸術愛好家		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	同種のイベントしては、多くの参加者が集まる市民参加で開催される「市民第九演奏会」への補助		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民の文化意識の向上を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,500,000円			
	決算額[B]		3,500,000円			
	執行率[B]/[A]		100.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市民第九演奏会補助金：3,500千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,500,000円			
	財源合計[C](=[B])		3,500,000円			
人件費	一般職員		10人日	268,217円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		0人日	円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員			円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]		268,217円			
総事業費[B]+[D]			3,768,217円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民第九演奏会参加者数	入場者数	人	目標値		680.0	690.0	700.0	710.0
			実績値	669.0	649.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度から補助事業が市民第九演奏会単独となった。この事業については全事業費に係る市の補助割合が高いという問題点がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	（一財）楽友協会に他の補助金が活用できないか働きかける必要がある。また、市民第九演奏会についても、チラシの配布先の見直しなどを行い、積極的にPRして入場者の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育スポーツ振興事業			款項目	09-06-01	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：市民全般及びスポーツ指導者ほか		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	スポーツを通じた健康づくり行事の実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民がいつでも自分のスタイルでスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ環境の創出		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		1,565,000円			
	決算額[B]		899,576円			
	執行率[B]/[A]		57.5%			
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		市民初心者子どもスケート教室に伴う大型バス等借り上げ 506,750円 各種教室及び大会保険料 162,400円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	468,746円			
		一般財源	430,830円			
	財源合計[C](=[B])		899,576円			
人件費	一般職員		80人日　2,145,733円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		20人日　180,400円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		80人日　520,800円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,846,933円			
総事業費[B]+[D]			3,746,509円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加者の満足度	スポーツ健康教室参加者の満足度（アンケート）	%	目標値		95.2	95.5	95.8	96.1
			実績値	95.0	95.2			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	スポーツ健康教室の参加者は増加（平成30年度102人→令和元年度464人）したが、市民初心者子どもスケート教室（平成30年度194人→令和元年度164人）、市民歩け歩け大会（平成30年度78人→令和元年度48人）等の参加者が減少している。スポーツ健康教室は教室の内容の変更（軽スポーツ→バドミントン・卓球）、スケート教室、歩け歩け大会は雨天が要因と考えられる。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	教室等について、参加者へのアンケートの実施等により市民のニーズに応じた内容の見直しを行い、教室を契機として自主的にスポーツが行えるよう導く。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育スポーツ奨励事業			款項目	09-06-01	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：スポーツ団体及びスポーツ大会事業等ほか		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	スポーツ大会事業等の助成など		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	スポーツ推進計画に基づいた市民スポーツの振興及び地域の活性化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		16,730,000円			
	決算額[Ｂ]		14,347,467円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		リニアと翔る都留ロードレース大会補助金　6,660,275円 特定非営利活動法人都留市体育協会補助金 4,705,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	14,347,467円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		14,347,467円			
人件費	一般職員		90人日　2,413,950円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		100人日　902,000円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		110人日　716,100円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		4,032,050円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			18,379,517円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加者のリピーター数	リニアと翔る都留ロードレース大会の参加者のリピーター数（年度小計）	人	目標値		300.0	350.0	400.0	450.0
			実績値	287.0	346.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ロードレース大会の日程を11月としたほか、仮装ランナー賞の特別表彰を新たに設けるなどしたため、定員を上回る参加申込みがあったが、市内・県内の方が多く、今後、継続的な開催を目指すためには、近隣の関東圏からの参加者をより多く集客する必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	広報、インターネットへの掲載に加え、ＣＡＴＶへの広告掲載、公共施設へのチラシ配布等などの取組を積極的に行う。ＳＮＳ等の活用も検討する。多種多様な媒体による広報活動に加え、地元特産品の販売ブースの出店など参加者の興味を引く企画を考案し、集客を図る。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	野球場管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例、都留市住吉球場条例		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：球場使用者　対象物：市営住吉球場・楽山球場		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	球場の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	球場使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		5,367,000円			
	決算額[Ｂ]		4,332,135円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		80.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		住吉球場駐車場鉄板取付修繕 172,810円 楽山球場汚水貯留槽汚泥引抜業務委託 509,760円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	574,550円			
		一般財源	3,757,585円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,332,135円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		20人日　180,400円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		90人日　585,900円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		2,107,383円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			6,439,518円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（楽山・住吉）	人	目標値		12455.0	12465.0	12475.0	12485.0
			実績値	12443.0	9584.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	楽山球場は、公園施設長寿命化計画に基づき、大規模改修を実施している。住吉球場は、今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育館管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市民総合体育館条例		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：体育館使用者　対象物：市民総合体育館・下谷体育館ほか		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	体育館の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	体育館使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		15,281,376円			
	決算額[Ｂ]		14,458,832円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		94.6%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 都留市民総合体育館網戸取付修繕 684,050円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	3,780,286円			
		一般財源	10,678,546円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		14,458,832円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		20人日　180,400円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		50人日　325,500円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			16,305,815円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（民体・下谷）	人	目標値		62000.0	62010.0	62020.0	62030.0
			実績値	61993.0	61559.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	耐震工事や改修工事を行ってはいるが、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所もある。今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	各体育施設管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例、都留市テニスコート条例ほか		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：社会体育施設使用者　対象物：玉川グラウンド、大輪スポーツ広場、市営テニスコート、市民プール、水沼グラウンド、各小中学校の体育館及びグラウンドの維持管理		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 社会市体育施設等の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 体育館使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		14,752,342円			
	決算額[Ｂ]		12,299,726円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		83.4%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		小中学校体育館管理人賃金 1,346,400円 玉川グラウンド夜間照明交換修繕 950,400円 夜間照明管理委託料 690,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	6,494,130円			
		一般財源	5,805,596円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		12,299,726円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		20人日　180,400円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		50人日　325,500円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			14,146,709円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（玉川・テニス・大輪・水沼）	人	目標値		49100.0	49150.0	49200.0	49250.0
			実績値	49048.0	46838.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市民プール、水沼グラウンド、大輪スポーツ広場の利用率が低い。これは、市民プールの温水化未整備、水沼グラウンドの駐車場未整備等が要因と考えられる。夜間照明や市民プールなど、経年劣化や老朽化がかなり見受けられる。今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。水沼グラウンドの駐車場の借り受け等を検討する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	やまびこ競技場管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：やまびこ競技場、多目的広場使用者　対象物：やまびこ競技場、多目的広場		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	やまびこ競技場、多目的広場の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	やまびこ競技場、多目的広場使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		36,254,636円			
	決算額[Ｂ]		35,250,954円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		97.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		施設管理業務委託料 1,774,000円 芝生管理業務委託料 937,200円 やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事 30,250,000円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	22,600,000円			
		その他特定財源	637,420円			
		一般財源	12,013,534円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		35,250,954円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		20人日　180,400円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		50人日　325,500円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			37,097,937円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（やまびこ・多目的広場）	人	目標値		16050.0	16100.0	16150.0	16200.0
			実績値	15999.0	11182.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.4			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事を平成29年度から5年計画で実施することから、工事期間中は、施設が使用できないことから、利用者数も減少すると考える。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事を極力短期間で完了し、市民の利用日をできるだけ多く確保する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康ジム管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	都留市健康ジム条例		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	対象者：健康ジム利用者　対象物：健康ジム		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	指定管理による健康ジムの適正な運営管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	健康ジムの利用者を増やし、健康増進や介護予防を推進		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[A]		27,412,946円							
	決算額[B]		26,685,600円							
	執行率[B]/[A]		97.3%							
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		指定管理料26,685,600円							
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	26,685,600円							
	財源合計[C](=[B])		26,685,600円							
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円						
		対象外事業分		円						
	嘱託職員		20人日	180,400円						
		対象外事業分		円						
	臨時職員		50人日	325,500円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[D]			1,846,983円						
総事業費[B]+[D]			28,532,583円							

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康ジム利用者数	年間延べ利用者数（健康ジム）	人	目標値		31000.0	31100.0	31200.0	31300.0
			実績値	30973.0	27698.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	毎月、指定管理者と市担当者で定例会を開催し、利用者数の分析、設備の不具合の有無などの確認を行っている。利用者のニーズに応じて、プログラムや講座を新規開設するなど指定管理者の自主事業に工夫が必要。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	利用者のニーズに合致したプログラムや講座の新規開設のほか、幼少期・青年期から運動習慣を定着させるようなプログラムなどの提案を指定管理者に要望する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	はつらつ鶴寿大学事業			款項目	04-02-01	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奥秋清子
会計	介護特会	事業開始年度	平成１７年度	法定根拠・法令等	都留市はつらつ鶴寿大学設置要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市内高齢者（概ね60歳以上の市民）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	各種講座（福祉、俳句、短歌、歴史、陶芸、健康など）及び講演会・実地研修旅行等の開催		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	高齢者の生きがいづくり、仲間作りが達成され、卒業後も社会参加による地域活性化に寄与することにより、ひいては医療費の是正が期待される。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		905,000円			
	決算額[B]		644,798円			
	執行率[B]/[A]		71.2%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		講師謝金：85千円 視察研修バス借上げ費：394千円 消耗品購入等：83千円			
	財源内訳	国庫支出金	165,000円			
		県支出金	68,000円			
		地方債				
		その他特定財源	98,000円			
		一般財源	313,798円			
	財源合計[C](=[B])		644,798円			
人件費	一般職員		30人日	804,650円					
		対象外事業分		円					
	嘱託職員		120人日	1,082,400円					
		対象外事業分		円					
	臨時職員		50人日	325,500円					
	別担当職員			円					
	人件費合計[D]			2,212,550円					
総事業費[B]+[D]				2,857,348円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
年度修了者数	3つの学年の修了者（開講講座の半数以上を受講）の合計	人	目標値		100.0	110.0	115.0	120.0
			実績値	99.0	97.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	この数年は入学者数がほぼ定員を満たす程度まで増加しているが、卒業後再入学する「リピーター」が依然多いため、申込みの時期により新規入学希望者が入学できないケースが発生している。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	前年度までの方針を踏襲して内容の充実や広報活動、他組織等との連携や交流を進めるとともに、新規入学希望者を優先するための募集要項の改訂等を行う。また令和2年度より一般会計事業となったため、経費節約とともに、学費値上げ等収入増加の方策を検討していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	まちづくり交流センター管理運営事業			款項目	09-05-03	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奥秋清子
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	都留市まちづくり交流センター条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	公民館、図書館、交流室等を内包する複合施設として、市民の生涯学習及び多世代交流の場を提供するために適切な施設管理を行ない、また学習や交流を促進するために講座・イベント等を開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民の生涯学習活動・世代間交流等を支援・促進することにより、各種文化活動の興隆を図り心豊かな市民の暮らしを実現する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		18,476,000円			
	決算額[Ｂ]		17,046,391円			
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		92.3%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		保守点検委託料：8,550千円 光熱水費：4,342千円 燃料費：1,733千円 修繕費：921千円 消耗品費：510千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	716,997円			
		一般財源	16,329,394円			
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		17,046,391円			
人件費	一般職員		80人日　2,145,733円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		90人日　811,800円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		50人日　325,500円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[Ｄ]		3,283,033円			
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			20,329,424円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	貸館施設（大ホール・会議室1～3・3階多目的ルーム）の利用率の平均	%	目標値		52.3	53.9	55.5	57.2
			実績値	50.8	52.2			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・受変電設備やエレベーターなど館内設備において、経年劣化によるリスク増大等が見込まれ、機器更新や改修が必要となっている。 ・「暮らしに役立つみんなの広場」において参加者数が募集人数を満たす講座が少なかった。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・館内設備機器について、適宜修繕等を行なっていくとともに、必要な機器更新等を計画的に実施していく。 ・「暮らしに役立つみんなの広場」を生涯学習事業の一環として位置づけ、より広い範囲の内容・講師・参加者を募っていく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと会館管理運営事業			款項目	09-05-10	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奥秋清子
会計	一般会計	事業開始年度	平成3年度	法定根拠・法令等	都留市ふるさと会館条例		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業			←その他の場合の詳細	都留市健康ジム指定管理者が受託		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	市民の生涯学習及び多世代交流の場を提供するために、隣接する県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ富士）及びまちづくり交流センターと連携して適切な施設管理を行なう。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民の生涯学習活動・世代間交流等を支援・促進することにより、各種文化活動の興隆を図り心豊かな市民の暮らしを実現する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		8,944,000円			
	決算額[B]		8,379,287円			
	執行率[B]/[A]		93.7%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		保守点検委託料：2,452千円 負担金(光熱水費等)：2,639千円 修繕費：2,678千円 使用料及び賃借料：434千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	2,041,705円			
		一般財源	6,337,582円			
	財源合計[C](=[B])		8,379,287円			
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		80人日　721,600円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		20人日　130,200円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		2,192,883円			
総事業費[B]+[D]			10,572,170円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	貸館施設（2階展示ホール・3階第1～4研修室）の利用率の平均	%	目標値		15.5	15.8	16.1	16.5
			実績値	15.2	12.4			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	2.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・建物本体及び内部設備に経年劣化による不具合(雨漏り等)が発生している。 ・2階及び3階へのバリアフリー対策として階段外側に手摺を追加設置した。 ・まちづくり交流センターと比較して利用率が低い。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・長寿命化計画に基づき、経年劣化による損傷、不具合等は更新、修繕等適宜対処していく。 ・利用率の向上に向けて、館内のさらなるバリアフリー化等も含め方策を検討する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	図書館運営事業			款項目	09-05-04	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	市立図書館	記入者	鶴田理恵
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	図書館法、都留市立図書館設置条例		
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	市民等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	図書等各種資料を収集整備し市民等利用者へ提供、館内利用・学習環境を整備し提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	市民等の読書活動促進、教養の涵養、生涯学習に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		26,707,000円			
	決算額[B]		25,353,036円			
	執行率[B]/[A]		94.9%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・資料購入費 10,006千円 ・図書館システム更新機器構築委託料 9,900千円 ・図書館システム保守委託料 1,973千円、同機器使用料 1,425千円　・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ等使用料1,007千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	25,353,036円			
	財源合計[C](=[B])		25,353,036円			
人件費	一般職員		408人日　10,943,240円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		648人日　5,844,960円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		240人日　1,562,400円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		18,350,600円			
総事業費[B]+[D]			43,703,636円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用数	入館者数（のべ人数）	人	目標値		116100.0	116200.0	116300.0	116400.0
			実績値	113522.0	98056.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	行事・展示等に注力し、利用の増加、新規利用者の獲得をめざし高齢者層、乳幼児の利用増が顕著であった。今後もこの需要増が見込まれ、合理化・重点化等業務見直しによる効率化だけでは対応困難な人員不足が懸念される。評価指標の入館者数が前年より低いのは、機器入替及び感染症予防対応で約40日開館日数が少ないため。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢社会に対応する資料整備、事業・行事用予算及び人員の確保 ニーズにそった企画・展示や図書の購入など
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	子ども読書活動支援事業			款項目	09-05-04	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	市立図書館	記入者	鶴田理恵
会計	一般会計	事業開始年度	平成15年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	乳幼児及び学童（下記：①７か月乳児世帯　②小学1年生　③小学４年生）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	子どもの発達段階（年齢）に即した3つの施策（①ブックスタート②セカンドブック③サードブック）による読書活動の促進する絵本、図書館バッグ、利用案内ほか利用啓発資料の配布や説明		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	対象者の読書活動の増進		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		381,000円			
	決算額[B]		327,734円			
	執行率[B]/[A]		86.0%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・報償費（事業実施時補助）33千円　・消耗品費（利用啓発資料購入：絵本53千円、ﾌﾞｯｸｽﾀｰﾄﾊﾞｯｸﾞ112千円、通帳ケース72千円）・消耗品費（ﾄﾅｰ、用紙他）60千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	327,734円			
	財源合計[C](=[B])		327,734円			
人件費	一般職員		24人日　643,720円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		336人日　3,030,720円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		3,674,440円			
総事業費[B]+[D]			4,002,174円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
対象利用登録率	新規利用登録者に占める対象の割合（%）（幼児・小学生）	%	目標値		36.0	41.0	42.0	43.0
			実績値	34.4	40.3			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	5			
平均得点	5.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	前年度後期よりﾌﾞｯｸｽﾀｰﾄ実施方法の見直し（会場を乳児健康相談会場から図書館へ変更）を行い、乳幼児世帯の利用を伸ばした。今年度は、子どもの発達段階に即した３番目の読書支援施策として、「ｻｰﾄﾞﾌﾞｯｸ」（読書通帳の利用促進等）を開始し、学童の利用を喚起する取組を行った。今後は実質的な貸出を伸ばす工夫が必要。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ミュージアム都留管理運営事業			款項目	09-05-08	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	ミュージアム都留	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	資料の収集・保管及び利用者に対して、必要な説明・助言・指導等を行う。また資料に関する案内書、解説書、調査研究報告書の作成を行う。都留市の歴史や文化等に関する講演会・講習会・研修会等を開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	考古・民俗・美術・その他の資料を収集、保管、展示を行い、併せてこれらの博物館資料の調査研究を行い、市民の学術文化の向上に役立てる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		13,783,835円			
	決算額[B]		13,477,912円			
	執行率[B]/[A]		97.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		光熱水費：4,399千円 修繕料：1,970千円 保守点検委託料:5,918千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	5,469,654円			
		一般財源	8,008,258円			
	財源合計[C](=[B])		13,477,912円			
人件費	一般職員		220人日　5,900,767円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		160人日　1,041,600円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		6,942,367円			
総事業費[B]+[D]			20,420,279円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	常設展・企画展、図書情報室、エントランスホールの利用者の合計	人	目標値		9500.0	9900.0	10200.0	10500.0
			実績値	9376.0	7820.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	開館から20年が経過し、館内の各種設備の老朽化に伴う故障が増えてきている。すべての機器を更新するためには多額の費用が必要である。増田誠美術館を統合したが利用者が思ったほど増加しておらず、常設展示と同様に一度見ているため繰り返し見たいと思わせる資料が展示できていない状況にある。常設展示のリニューアルも今後検討していかなければならない課題である。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・保守点検結果に基づいた修繕を実施し、今後必要となる設備更新のための計画を作成していく。 ・常設展示や企画展開催により、多くの人に来館してもらうための新聞広告やホームページを使ったＰＲ活動を実施していく。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ミュージアム都留企画展等開催事業			款項目	09-05-08	評価責任者	清水　敬
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	ミュージアム都留	記入者	八代　哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。		
	一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。		
	企画展、特別展（５年に１回程度開催）の開催により、広く市民に都留の歴史や文化を紹介する。展示に合わせた関連イベントも開催する。また、夏休み期間中は子供向けの展示会を開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。		
	中世の小山田氏、近世の秋元氏の業績、天和３年に谷村を訪れた松尾芭蕉、八朔祭の屋台や飾り幕などの都留市の特色ある歴史や文化に対し、市民が関心をもち、誇りに思えるようにする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,324,165円			
	決算額[B]		2,984,114円			
	執行率[B]/[A]		89.8%			
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		イベント講師謝礼:122千円 ポスター・チラシ印刷(3回分):342千円 企画展図録印刷製本(3回分):317千円 展示ディスプレイ作成委託料(3回分):808千円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	336,600円			
		一般財源	2,647,514円			
	財源合計[C](=[B])		2,984,114円			
人件費	一般職員		260人日　6,973,633円			
		対象外事業分	円			
	嘱託職員		0人日　円			
		対象外事業分	円			
	臨時職員		160人日　1,041,600円			
	別担当職員		円			
	人件費合計[D]		8,015,233円			
総事業費[B]+[D]			10,999,347円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
企画展・特別展入館者数	第2展示室で開催する企画展・特別展の入館者数	人	目標値		5200.0	5400.0	5600.0	5800.0
			実績値	5047.0	3817.0			

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2			
達成度（目標が実現できているか）	1			
平均得点	3.2			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企画展の内容により、関心を持って来館してくれる人が左右され、評価が一定しないが、増田誠展や郷土の画家展など都留市に関連のある企画展を開催して行きたい。また、特別展については、調査研究に時間がかかるため、今後も開館記念に合わせた開催をして行きたい。
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	市民企画との協働での企画展をこれからも実施するが、マンネリ化に注意する。また、都留市の歴史文化の調査研究を継続するとともに多種多様な企画展が開催できるよう、いろいろな分野についても調査を行う。
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬 ☑	☐	☐	☐